

泉南市埋蔵文化財センター 年報

平成 27 年度

はじめに

当施設は、ふたつの機能を兼ね備えております。1階は埋蔵文化財センターとして、市内埋蔵文化財の発掘調査やそれに伴う出土品の整理・保管・研究を、行っております。2階は博物館的な施設として、隣接する国史跡海会寺跡出土の国指定重要文化財をはじめ、調査などによって得られた市内文化財の情報をひろく市民に還元する施設です。これまで、施設内での歴史講座や体験学習などのほか、学校教育機関への出張講座などの普及啓発事業を行ってまいりました。

本書は、当施設の事業のうち、平成27年度に実施した普及啓発事業をまとめたものです。これまでのご理解とご協力に御礼申し上げますとともに、今後も市民の皆様のご要望にお応えできるよう、より充実した事業展開に努めてゆく所存であります。

泉南市教育委員会

1. 施設の概要	1
2. 組織・職員	2
3. 利用者数と利用形態	2
4. 展示	4
5. 体験学習	4
6. フィールドワーク	5
7. 講座	6
8. 文化財普及啓発ボランティア	6
9. 市内資源発見活用事業	7
10. 文化財活用促進事業	8
10-1 海会寺ハスいっぱいプロジェクト	8
10-2 文化財を活かした地域づくり	8
10-3 郷土カルタ作成事業	8
【参考資料】ニュースレター	9
11. 附編	
埋蔵文化財センター条例・同施行規則	29
史跡海会寺跡広場条例・同施行規則	29

1. 施設の概要

略沿革

- 平成 6 年 7 月～平成 7 年 3 月 基本設計及び実施設計。
- 平成 7 年 3 月 浄化槽設置工事完成。
- 平成 7 年 6 月 海会寺跡出土遺物 302 点が国の重要文化財に指定される。
史跡海会寺跡整備事業完了。「史跡海会寺跡広場」として一般開放開始。
- 平成 8 年 3 月 埋蔵文化財センター竣工。
1 階埋蔵文化財センター部門供用開始。
- 平成 9 年 4 月 埋蔵文化財センター条例、同施行規則施行。
展示施設一般開放開始。
- 平成 10 年 7 月 重要文化財海会寺跡出土遺物を常設展示とする特別展示室オープン。

施設

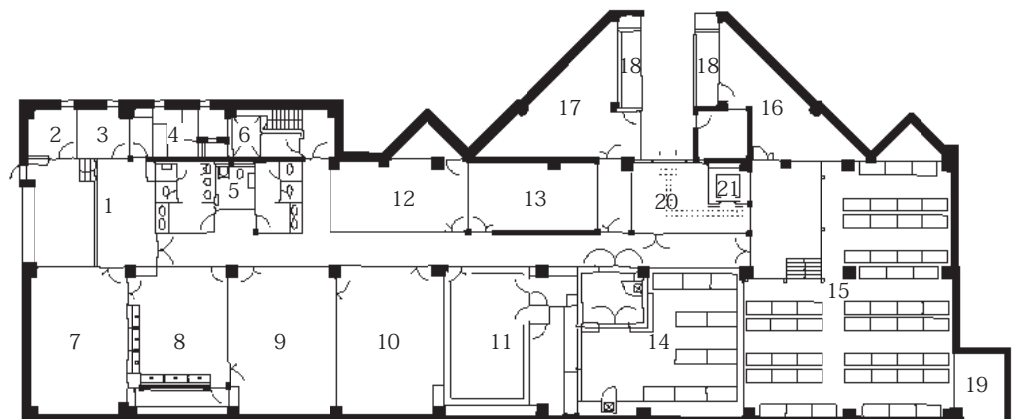
鉄筋コンクリート造地上 2 階耐火構造

敷地面積	4602.24 m ²
建築面積	1164.82 m ²
延床面積	1893.86 m ²
1 階	990.89 m ²
2 階	902.97 m ²
総室数	1 階 27 部屋 2 階 16 部屋

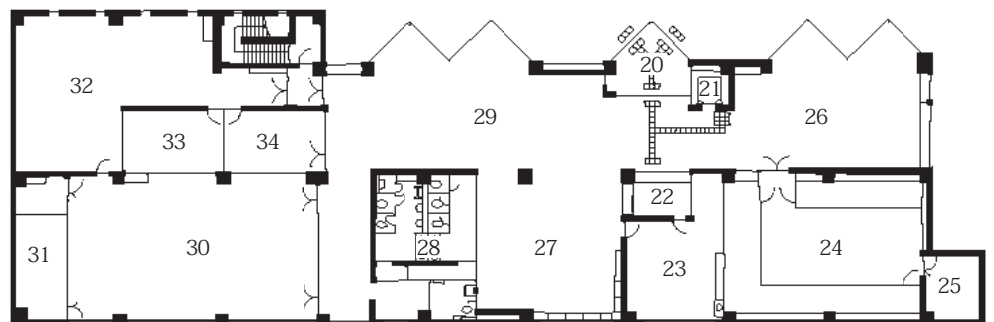
泉南市埋蔵文化財センター事業費（平成 7 年度完成分まで）

設計委託	11,433,000 円
設計事務管理委託	8,446,000 円
浄化槽設置工事	43,260,000 円
建築工事	762,200,000 円
植栽工事	6,180,000 円
上水道施設負担金等	958,000 円
用地購入	532,018,944 円

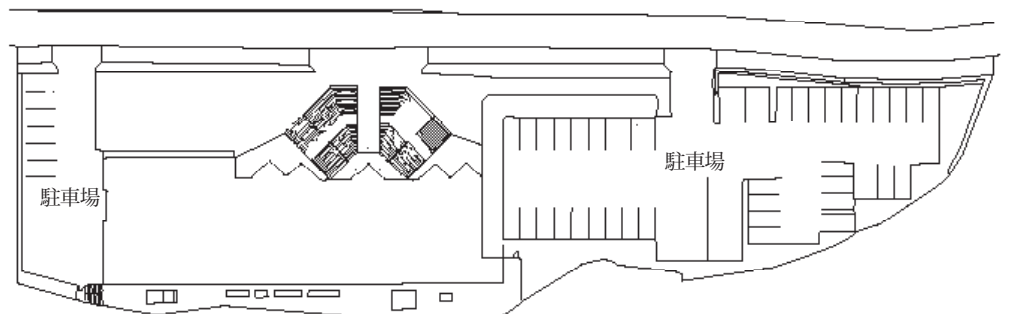
- 1 荷解場
- 2 警備員室
- 3 女子更衣室
- 4 休憩室
- 5 トイレ
- 6 ポンプ室
- 7 仮収蔵庫
- 8 洗浄室
- 9 遺物整理室
- 10 記録整理室
- 11 写場・暗室・乾燥室
- 12 図面収蔵庫
- 13 写真収蔵庫
- 14 特別収蔵庫
- 15 収蔵庫 1
- 16 収蔵庫 2
- 17 収蔵庫 3
- 18 展示ケース
- 19 CO₂ボンベ室
- 20 風除室
- 21 エレベーター
- 22 受付
- 23 事務室
- 24 特別展示室
- 25 展示準備室
- 26 展示ホール
- 27 図書情報コーナー
- 28 トイレ
- 29 サロン
- 30 講堂兼視聴覚室
- 31 倉庫
- 32 調査研究室
- 33 図書保管室
- 34 会議室



1 階 平面図



2 階 平面図



2. 組織・職員

教育長 福本光宏
 教育部 部長 上ノ山 正人
 次長 右馬隆治
 生涯学習課 課長 岡坂吾一
 課長代理 阪本広行
 文化財保護係 主幹 岡 一彦（本庁勤務）
 係長 城野博文（埋蔵文化財センター勤務）
 主査 河田泰之（埋蔵文化財センター勤務）

3. 利用者数と利用形態

月別入館者数

	開館 日数	大人		子ども		計
		男	女	男	女	
4月	24	302	251	14	24	591
5月	21	258	149	45	27	479
6月	24	129	101	25	30	285
7月	24	230	228	40	43	541
8月	24	193	380	276	311	1160
9月	21	79	65	11	11	166
10月	23	160	125	71	86	442
11月	21	221	171	21	29	442
12月	20	67	74	77	38	256
1月	19	116	123	50	51	340
2月	23	161	130	30	19	340
3月	26	235	222	80	59	596
合計	270	2151	2019	740	728	5638

施設外への出張事業（依頼・共催）-1

月日	施設名（依頼内容）	人数
4月22日	市立西信達小学校6年生 （タコ壺づくり・タコ壺漁の歴史説明）	81
5月12日	市立雄信小学校6年生 （火おこし・タコ壺漁の歴史説明）	39
5月19日	市立雄信小学校6年生 （タコ壺づくり）	39
5月21日	市立西信達小学校6年生 （タコ壺づくり）	81
5月26日	市立樽井小学校6年生 （タコ壺づくり・タコ壺漁の歴史説明）	114
6月7日	きしわだ自然資料館 （弥生時代の文様でポストカードを製作）	100
6月9日	市立鳴滝小学校 （組みひもづくり）	20

施設外への出張事業（依頼・共催）-2

6月15日	市立一丘小学校 （タコ壺づくり・タコ壺漁の歴史説明）	65
6月19日	市立雄信小学校タコ壺づくり （タコ壺焼き）	39
6月25日	市立樽井小学校6年生 （タコ壺焼き）	114
7月6日	市立一丘小学校 （タコ壺焼き）	65
7月17日	新家グリタ子ども会 （組みひも・割り箸鉄砲づくり）	20
9月1日	新家グリタ子ども会 （組みひも・割り箸鉄砲づくり）	20
9月13日	きしわだ自然資料館 （プラ板で古代のアクセサリづくり）	20
10月18日	泉南市商工会 （泉南マルシェでのブース出展・タコの折紙と出土タコ壺展）	200
10月25日	西信達地区地域教育協議会 （西信フェスタでの組みひもづくり）	200
11月15日	和歌山県立紀伊風土記の丘 （風土記まつりでのミサンガづくり）	200
12月15日	市立東小学校全学年 （古代パンづくり）	75
1月31日	府立弥生文化博物館 （弥生フェスティバルでのストロー管玉ネックレスづくり）	100
2月3日	市立西信達小学校3年生 （昔の道具体験とかき餅焼き）	65
2月5日	市立西信達小学校1年生 （昔の遊び）	62
2月8日	市立東小学校全学年 （カルタ大会）	75
2月16日	市立信達小学校3年生 （民具の使用体験）	144
2月25日	泉南市砂川小学校3年生 （民具の使用体験）	89
3月4日	府立江之子島文化芸術創造センター （「わがまちカンヴァス事業」の事例発表）	60
3月27日	府立弥生文化博物館 （弥生フェスティバル「ミサンガをつくろう！」の製作指導）	30
合計		2117

おもな団体-1

月日	団体名（内容）	人数
4月27日	道草会（施設見学と解説）	86
5月24日	南泉州観光ボランティア連絡協議会 （大坂夏の陣から400年記念イベント）	161
7月2日	障害福祉課チャオの会 （施設見学・組みひもづくり）	19

おもな団体 - 2

7月28日	放課後クラブオーパ (消しゴムハンコでポストカードづくり)	13
8月6日	放課後クラブオーパ (棒とんぼづくり)	15
8月20日	放課後クラブ オーパ (ゴム鉄砲づくり)	11
10月15日	泉南市立鳴滝小学校1年生 (施設見学と紙芝居・火おこし)	44
10月15日	泉南市立新家東小学校1・2年生 (施設見学と紙芝居・火おこし)	70
10月21日	ブロードトラベル (施設見学)	33
11月14日	大坂の陣400年プロジェクト実行委員会 (施設見学)	200
11月28日	両槻会 (施設見学と講座)	30
12月12日	ボーイスカウト泉南第2団カブスカウト隊 (カレンダーづくり)	22
3月24日	泉南市立図書館 (「春休み小学生カルタ大会」)	40
3月29日	放課後クラブオーパ (施設見学とカルタ遊び)	22
合計		766

その他依頼

月日	団体名	内容	人数
4月3日	子育て支援課	出前保育事業	20
4月6日	子育て支援課	出前保育事業	16
4月14日	人権推進課	フィールドワークによる施設利用	25
4月26日	産業観光課	観光ガイド養成研修 (施設見学)	168
6月4日	人権推進課	初任者研修による施設使用	52
7月27日	指導課	市内小中学校初任者研修 (施設見学など)	34
9月16日	富山大学人文学部 日本語研究室	方言調査による施設使用	17
10月26日	大阪府都市教育委員会 連絡協議会	泉北・泉南ブロック研修会	40
1月6日	子育て支援課	出前保育事業	73
2月29日	子育て支援課	出前保育事業	50
合計			495

資料貸出しなど -1

機関名	内 容	点数
個人	【資料貸出】個人的に保管したい(母親の若いころの写真など) (市内資源発見活用事業登録物件)	1
個人	【資料貸出】個人的に保管したい(阪和電鉄のパンフレットなど) (市内資源発見活用事業登録物件)	3
白井病院	【資料貸出】高齢者の方々のコミュニケーションツールとして。民具の写真パネルセット (市内資源発見活用事業登録物件)	74
白井病院	【資料貸出】高齢者の方々のコミュニケーションツールとして民具を借用。 (市内資源発見活用事業登録物件)	7
熊取町教育委員会	【資料貸出】展示資料として(阪和電鉄のパンフレット) (市内資源発見活用事業登録物件)	1
社会福祉法人 長寿会	【資料貸出】高齢者の方々のコミュニケーションツールとして。民具の写真パネルセット (市内資源発見活用事業登録物件)	74
読売テレビ	【資料貸出】『かんさい情報ネットten!』での紋羽工場の写真紹介 (市内資源発見活用事業登録物件)	4
泉南案内人の会	【資料貸出】砂川奇勝・砂川奇勝と遊園の写真 (市内資源発見活用事業登録物件)	4
西信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用 (市内資源発見活用事業登録物件)	15
泉南市立図書館	【資料貸出】紙芝居を上演・展示(「お菊山」「ごろ吉仏さま」)	2
信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用 (市内資源発見活用事業登録物件)	15
社会福祉法人 長寿会	【資料貸出】高齢者の方々のコミュニケーションツールとして。民具の写真パネルセット (市内資源発見活用事業登録物件)	76
砂川小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用	15
合計		291
市内資源発見活用事業登録物件: 291件、文化財の調査成果資料: 0点		

4. 展示

常設展示

「海会寺跡」

内容 隣接する国史跡海会寺跡からの出土品のうち、国重要文化財指定物件を中心に展示。海会寺跡の歴史的価値をわかりやすく紹介。

企画展示

「思い出のせんなん写真展」

期間 4月25日～6月30日

内容 泉南市内で撮影された写真を持ち主の思い出を添えて紹介するほか、当時の暮らしの道具なども展示。あわせて市民などから写真を募集したが、今年度は展示期間中の応募がなかった。

「せんなん郷土カルタ展」

期間 11月8日～3月31日

内容 教育委員会で実施している「郷土カルタ作成事業（平成27年12月発行）」をワークショップでの資料や、市内小学校から寄せられた読み札の句・絵札の原画（水彩画）など70点で紹介。関連行事として「せんなんカルタ発行記念カルタ大会」実施した。

「泉南市は世界的なタコ壺のまち展」

期間 2月13日～4月9日

内容 泉南市は、全国的（＝世界的）にもふい時代から現代までタコ壺漁が行われてきたまちです。また、市内に所在する戒煙遺跡は、タコ壺漁を行っていた村の様子がわかる遺跡としては全国的（＝世界的）なものといえます。それらを「まちの魅力」としてとらえ全国に発信する、「せんなんタコ壺プロジェクト」を阪南大学と泉研究室と連携して、今年度の実施した成果を展示することで、今後プロジェクトを推進する主体となるコミュニティ形成を目的とした。関連行事として講座2回、体験プログラムを1回実施した。

「泉南のモササウルス展」

期間 3月12日～3月27日

内容 泉南市生涯学習推進係所管の「泉南楽会」として開催。泉南市で見つかった中生代白亜紀後期のモササウルスの顎の骨や、泉南地域で発掘された化石・パネルを展示。関連行事として講座を1回実施した。

5. 体験学習 「まいぶんクラブ」

内容 昔の暮らし体験を通じて、歴史文化への興味関心を持つきっかけを提供することが目的。ボランティアの協力を得て実施した。

①タコ壺づくり 5/9（土）参加者21人

当時の方法で、本格的なタコ壺づくり。

②まが玉ネックレスづくり 5/23（土）参加者48人

古墳時代のまが玉をアレンジしたネックレスづくり。

③組みひもづくり 6/13（土）参加者21人

飛鳥時代の組みひもと同じ方法でのミサンガづくり。

④プラ板キーホルダーづくり 6/27（土）参加者22人

昔の文様を写し取ったキーホルダーづくり。

⑤消しゴムハンコで葉書 7/11（土）参加者30人

むかしの文様の消しゴムハンコでポストカードづくり。

⑥棒トンボづくり 8/4（火）参加者18人



せんなん郷土カルタ展 関連行事「かるた大会」のようす



「泉南市は世界的なタコ壺のまち展」講座のようす



「泉南のモササウルス展」のようす



まいぶんクラブ「タコ壺づくり」のようす

アイスの棒を使った竹トンボづくり。

⑦組みひもミサンガづくり 8/13 (木) 参加者 25 人

飛鳥時代の組みひもと同じ方法でのミサンガづくり。

⑧割り箸ゴム鉄砲づくり 8/18 (火) 参加者 25 人

割り箸と輪ゴムをつかったゴム鉄砲づくり。

⑨プラ板キーホルダーづくり 8/25 (火) 参加者 24 人

昔の文様を写し取ったキーホルダーづくり。

⑩消しゴムハンコでトートバック 10/24 (土) 参加者 21 人

むかしの文様の消しゴムハンコを使ったトートバックづくり。

⑪まが玉でネックレスづくり 11/14 (土) 参加者 19 人

古墳時代のまが玉をアレンジしたネックレスづくり。

⑫木の実の動物づくり 11/28 (土) 参加者 28 人

史跡海会寺跡広場にある木の实をつかった動物のミニチュアづくり。

⑬ツタ飾りづくり 12/12 (土) 参加者 29 人

史跡海会寺跡広場にあるツタをつかったツタ飾りづくり。

⑭カレンダーづくり 12/25 (金) 参加者 22 人

史跡海会寺跡広場にあるツタや木の实を使ったカレンダーづくり。

6. フィールドワーク 「歴史倶楽部」

飛鳥京から平安京への遷都の流れを、実際に現地を見学することによって、当時の政治・経済の動向やその時代の文化を学ぶことが目的。加えて現状の「みやこ」の遺跡を見ることで、文化財の保護・保存の重要性を参加者と一緒を考えることをテーマとした（登録者数 50 名・ボランティア 5 名）。

①説明会 3/18 (水)

②現地見学 1 4/8 (水) 「飛鳥のみやこ①」距離約 10km

参加者 33 名（ボランティア 5 名） 近鉄橿原神宮前駅～甘樫坐神社～豊浦寺跡～古宮遺跡～雷丘東方遺跡～明日香村埋蔵文化財展示室～甘樫丘休憩所（昼食）～水落遺跡～石神遺跡～飛鳥寺～飛鳥寺西方遺跡～伝飛鳥板蓋宮跡～川原寺・橘寺～甘樫丘東方遺跡～甘樫丘展望台～近鉄橿原神宮前駅

③現地見学 2 5/13 (水) 「難波宮」距離約 10km

参加者 40 名（ボランティア 5 名） J R 大阪城公園駅～旧・大阪砲兵工廠化学分析所～大阪城二の丸（京橋口・伏見櫓跡・極楽櫓）～大阪城本丸（山里丸・刻印石広場・隠し曲輪）～金蔵～天守閣～旧陸軍第四司令部～桜門～大阪城二の丸（一番櫓・六番櫓）～千貫櫓・多聞櫓～難波宮跡（昼食）～大阪歴史博物館～朱雀大路跡～細工谷遺跡～四天王寺

④現地見学 3 6/10 (水) 「近江大津宮」距離約 7km

参加者 34 名（ボランティア 4 名） J R 大津駅～琵琶湖疏水～三井寺～大津市歴史博物館～弘文天皇陵～新羅善神堂～皇子が丘公園（昼食）～近江大津宮錦織遺跡～近江神宮～檀木原遺跡～南滋賀町廃寺跡～J R 南滋賀駅

⑤現地見学 4 7/8 (水) 「飛鳥のみやこ②」距離約 6km

参加者 35 名（ボランティア 5 名） 近鉄橿原神宮前<バス移動>飛鳥資料館～飛鳥坐神社～飛鳥池工房遺跡（昼食）～奈良県立万葉文化館～酒船石遺跡～岡寺～<バス移動>近鉄飛鳥駅

⑥講座 5 8/5 (水) 講座「古代のみやこ」

参加者 38 名（ボランティア 5 名）

⑦現地見学 6 9/16 (水) 「藤原京」距離約 9km

参加者 23 名（ボランティア 4 名） 近鉄畝傍御陵前駅～神武天皇陵



歴史倶楽部 現地見学のようす

～「重要伝統的建造物群保存地区」今井町（昼食）～近鉄八木西口＜電車移動＞近鉄畝傍御陵前駅～本薬師寺跡～日高山窯跡～藤原京朱雀大路～藤原宮大極殿～橿原市藤原京資料室～近鉄畝傍御陵前駅

⑧現地見学 7 10/14（水）「平城京」距離約 10km

参加者 34 名（ボランティア 5 名） J R 郡山駅～羅城門跡～朱雀大路跡～朱雀門～平城京歴史館（昼食）～平城宮跡資料館～第一次大極殿～第二次大極殿跡～東院庭園広場～遺構展示館～奈良交通・平城宮跡バス停

⑨現地見学 8 10/28（水）「飛鳥のみやこ③」距離約 7km

参加者 31 名（ボランティア 4 名） 近鉄桜井駅＜バス移動＞談山神社～長安寺薬師堂（昼食）～不動の滝～気都和既神社～都塚古墳～伝飛鳥板蓋宮跡（飛鳥浄御原宮跡）～飛鳥京跡苑池～飛鳥バス停＜バス移動＞近鉄橿原神宮前駅

⑩現地見学 9 11/11（水）「恭仁宮」距離約 9km

参加者 31 名（ボランティア 5 名） J R 加茂駅～恭仁宮跡～山城国分寺塔跡（昼食）～海住山寺～木津川市文化財整理保管センター恭仁分室～J R 加茂駅

⑪現地見学 10 12/2（水）「長岡京」距離約 9km

参加者 32 名（ボランティア 5 名） J R 向日町駅～向日市文化資料館～須田家住宅～向日神社～元稲荷古墳～勝山緑地（昼食）～長岡宮大極殿跡～長岡宮朝堂院跡～光明寺～長岡天満宮～阪急長岡天神駅・J R 長岡京駅

⑫講座「まとめ」12/16（水）

参加者 39 名（ボランティア 4 名）

⑬現地見学 10 1/27（水）「平城京外京」距離約 6.5km

参加者 22 名（ボランティア 5 名） J R 奈良駅～興福寺～奈良公園（昼食）～頭塔～元興寺～奈良町～J R 奈良駅

7. 講座

「せんなん郷土カルタ展」関連講座

「せんなんカルタ発行記念かるた大会」

講師 プロジェクトメンバーの皆さん
協力 上之山 幸代さん、柳原可奈さん（アルパ演奏）
内容 『ええとこいっばい！せんなんかるた』の発行・発売を記念して実施。アルパの演奏や、豚汁の提供など実施。
日時 2/27（土）13：30～15：00
会場 埋蔵文化財センター
参加者 19 名

「泉南市は世界的なタコ壺のまち展」関連講座

「せんなんタコ壺プロジェクトの可能性 ～観光まちづくりの視点から」

講師 和泉 大樹さん（阪南大学国際観光学部）
内容 そもそもこの「せんなんタコ壺プロジェクト」は、阪南大学和泉研究室の学生が考えたアイデア。プロジェクトの内容評価と、今後の方向性について会場を巻き込んで議論。
日時 2/27（土）13：30～15：00
会場 埋蔵文化財センター
参加者 19 名

「せんなんのタコの話 - やらこてうまい理由」

講師 鍋島靖信さん（大阪府立環境農林水産研究所）

内容 泉南沖で生息するマダコの生態について「オモシロおかしく」紹介。泉ダコがなぜ「やらこてうまい」のか、専門家による納得の講座

日時 3/12（土）13：30～15：00

会場 埋蔵文化財センター

参加者 31 名

「タコたっぷりです！チリメンモンスター」

講師 きしわだ自然資料館の皆さん

内容 きしわだ自然資料館の名物プログラムを、いつもより「タコたっぷり」なチリメンジャコで実施。大阪湾の豊かさを見てみてさわって発見できる体験プログラム。今回は特別に大阪湾の魚の生態がわかる人形劇も実施。

日時 3/26（土）13：30～15：00

会場 埋蔵文化財センター

参加者 34 名

「タコあそび」

講師 せんなんタコ壺プロジェクトメンバーの皆さん

内容 タコの折紙やタコ壺づくりなど、タコをテーマにした楽しい遊びやおもちゃ作り。いずれも「泉南市は世界的なタコ壺のまち」を普及啓発するための手作りプログラム。

日時 3/28（月）13：30～15：00

会場 埋蔵文化財センター

参加者 11 名

企画展「泉南のモササウルス展」関連講座

「泉南の化石が解き明かす恐竜時代の大阪」

講師 宇都宮 聡さん
林 昭次さん（大阪市立自然史博物館）
内容 市内でみつかったモササウルスの化石からわかる新事実と、化石が見つかった和泉層群の年代や学術的価値、今後発見がきたされる恐竜化石発見の可能性について。モササウルスの発見者と、気鋭の恐竜学者が講演。
講演の後、講師と一緒に化石発掘体験も実施した。
日時 3/19（土）13：30～15：00
会場 埋蔵文化財センター
参加者 41 名

8. 文化財普及啓発ボランティア

活動への参加を通じて文化財保護の必要性を認識してもらうことが目的。ボランティア活動の場と参加体験型学習への参画機会を提供することで、施設の新規利用者の獲得も見込まれる。

ご協力いただいた事業とその内容

対象事業	内 容	協力者数
フィールドワーク 歴史倶楽部	現地見学時の引率・説明補助	5 人
まいぶんクラブほか 参加体験型学習	プログラムの企画・実施	8 人
文化財活用促進事業	・ワークショップへの参加 ・イベントの企画実施	45 人 約 180 人

9. 市内資源発見活用（せんなんのたからもの）事業

泉南市に関連する文化遺産（広義の文化財＝せんなんのたからもの）の価値を最大化させることが目的。住民と行政が、文化遺産の活用を通して文化財保護の必要性を共有することを目標だ。住民に地域への誇りを持つきっかけを提供することで、市域の活性化が見込まれる。現在3つの段階にわけて事業をすすめ、各段階ごとに目標を設定している。

段階1 文化財の認識をひろめる

「せんなんのたからもの」を公募する。「せんなんのたからもの」とは、時代や価値などの基準は設けず、①泉南市に関係するもので、②所有する人が大切だと思い、③活用したいとつよく思うものとする。登録物件は持ち主の所有とする。

- 目標
- ・住民に「せんなんのたからもの（広義の文化財）とは何か？」を考えるきっかけを提供する。
 - ・「せんなんのたからもの」を公開する方法や活用方法について、所有者や利用者の要望を把握する。

段階2 情報を共有する

応募のあった「せんなんのたからもの」を随時閲覧可能な状態で公開することで、ひろく活用をうながす。公開する手段は、前段階で把握した所有者や利用者の要望を反映する。

- 目標
- ・利用者による主体的な活用をうながし、地域の宝としての認知をひろめる。

- ・利用者の意見をもとに、具体的な活用形態を把握する。

段階3 利用者が活用しやすい環境をつくる

前段階で把握した具体的な活用形態を実現するために、エコミュージアム化など「せんなんのたからもの」を利用者が主体となり活用できる環境づくりをおこなう。

- 目標
- ・活用をきっかけとした人間関係の構築をうながし、維持発展させる。
 - ・泉南市らしい仕組み作りを行う。

【登録物件の活用について】

教育・生涯学習・地域活動の素材として、グループや個人が利用することをいい、活用方法は持ち主の承諾さえ得られれば特に制限はない。

行政による登録物件の公開

形態	名称など	内容	公開の方法など	その他公開方法	回数	件数
印刷物	広報せんなん	毎月登録物件を紹介。新規応募を促す。	全戸配布	泉南市ウェブサイト	3	3
展示	思い出のせんなん写真展	「せんなんのたからもの」の写真から約200枚を選び出し当時の持ち主の思い出を添えて展示。	会期：4/25～6/30 会場：埋蔵文化財センター		1	70
展示	泉南のモササウルス展	泉南市で見つかった中生代白亜紀後期のモササウルスの顎の骨と一緒に、和泉層群で発見された葉の化石を展示。	会期：3/12～3/27 会場：埋蔵文化財センター		1	1

住民などによる主体的な活用を促すために 5回・74件 の登録物件の情報を公開した

利用者による主体的な登録物件の活用

種類	月日	主体	活用の内容など	件数
個人・市外	5月25日	個人	当時の写真（母親）のデータをプリントして、家庭内で保存。	1
個人・市内	6月10日	個人	ゼミ（大阪市立大学）のグループワークでの資料及びまち歩きセミナーの配布冊子への掲載。	3
事業者・高齢者	7月8日	白井病院	【資料貸出】脳健康教室（回想法）に使用。	74
事業者・高齢者	7月8日	白井病院	【資料貸出】脳健康教室（回想法）に使用。	7
教育・市外	9月13日	熊取町教育委員会	【資料貸出】雨山ハイキングのパンフレット（阪和電鉄）煉瓦館企画展「熊取の文化」に展示。	1
事業者・高齢者	10月15日	社会福祉法人 長寿会	【資料貸出】脳健康教室（回想法）の使用として。	74
報道・新聞	10月21日	読売テレビ「かんさい情報ネットten」	【資料貸出】「Go！Go！若一調査隊」のコーナーで放送。	4
個人・市内	1月31日	泉南案内人の会	【資料貸出】泉南市内の案内用ガイド文資料への掲載。	4
学校教育・小学校	2月3日	市立西信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用。	15
学校教育・小学校	2月16日	市立信達小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用。	15
事業者・高齢者	2月17日	社会福祉法人 長寿会	【資料貸出】脳健康教室（回想法）に使用。	76
学校教育・小学校	2月25日	市立砂川小学校	【資料貸出】民具など社会科学習のために活用。	15

住民などにより 12回 ・289件 の登録物件が活用された。

10. 文化財活用促進事業

住民などと、文化財の多面的な活用を継続的に実践し、プレーヤー増とオープンな参画を志向することで、「シビックプライド¹⁾」の醸成を目指す。これにより、泉南らしい文化財保護の仕組みづくりを構築することを目的とする。今年度は以下の3事業を実施した。

- 1) 伊藤香織 + 紫牟田伸子監修 2008『シビックプライド - 都市のコミュニケーションをデザインする』

10-1. 海会寺ハスいっぱいプロジェクト

- ・事業内容の充実に、住民参画を手法として取り入れることで、史跡公園および埋蔵文化財センターの活用方法の創造が見込まれる。
- ・事業の周知と新たなメンバー獲得のため、お披露目イベント「ハスコンサート」と「ハスフェスタ」を実施した。

事業概要

- 本事業に参画した住民 195名 (のべ287名)
- ワークショップ 6回 参加者15名 (のべ61名)
内訳: 3/5 (14名)、4/15 (6名)、4/16 (9名)、5/7 (9名)、5/14 (9名)、6/11 (14名)
- ゲームごとのあつまり 7回
パン販売の打合せ 6/2 (1名)、パン販売の打合せ 6/15 (2名)、ポーチュラカの植替え 6/27 (7名)、コンサート出演者打合せ 7/1 (4名)、会場用イスの借り受け運搬 7/21 (1名)、竹鉄砲づくり 7/27 (6名)、前日準備と搬入 8/6 (10名)
- イベント参加者 862名
「ハスコンサート」 159名
(内訳: 来場者104名、出演者55名)
「ハスフェスタ」 703名
(内訳: 来場者563名、スタッフ15名、出演者等125名)

■本事業の紹介

ばどナビマガジン (6/26号)
ふぁみりー泉州 (7月号 No.162号)
あさひゆめほとと (636号)
読売新聞 (大阪版 7/26朝刊)
ふぁみりー泉州 (8月号 No.163号)
JCOM「ホームタウンウィークリー」 (8/17～8/23)
ふぁみりー泉州 (9月号 No.164号)

■事業への協力

一般財団法人小谷城郷土館、泉大津市立池上曾根弥生学習館、大阪ガス ガス科学館、大阪府立弥生文化博物館、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、きしわだ自然資料館、国登録有形文化財山田家住宅、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター、子育て支援センターひだまり、泉南市文化協会、泉南市立信達中学校、鳥取県立博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘、阪南大学国際観光学部和泉研究室

10-2. 域学連携で取り組む文化財を活かした地域づくり

- ・域学連携の手法を志向することで、文化財の活用方法の創造をめざす。
- ・昨年度提案された和泉研究室のアイデアをもとに、住民が「せんなんタコ壺プロジェクト」を企画し実施した。
- ・今年度の事業終了後、学校教育のなかで、継続した取り組みとして受け入れられることとなった(平成28年度以降、西信達小学校が、岡田浦漁協の支援のもと埋蔵文化財センターと一緒に取り組むこととなった)。

【事業概要】

- 本事業に参画した住民 のべ69名
- ワークショップの参加者 住民13名 (のべ50名)
企画1・2・3の実施にかかるワークショップを5回実施した。
内訳: 4/17 (9名)、5/15 (8名) 7/24 (13名)、7/31 (10名)、8/20 (10名)
- 各企画の参加者
企画1「せんなん戎煙遺跡のタコ壺をつくる」
5/9 まいぶんクラブ「タコツボをつくる」 参加者20名
5/19・6/19 雄信小学校 (6年生・35名、先生役3名)

5/21 西信達小学校 (6年生・79名、先生役3名)
5/26・6/25 樽井小学校 (6年生・106名、先生役5名)

6/15・7/6 一丘小学校 (6年生・72名、先生役8名)

* (先生役) はプロジェクトメンバーが先生役として参加した人数

企画2「実験! 昔のタコ壺でタコが獲れるか」* 岡田浦漁港内にて実施

6/23「タコ壺を沈める」 (参加者名17名)

6/30「タコ壺を引き上げる」 (参加者20名)

企画3「プロジェクト成果展せんなんタコあかり」

8/29「せんなんタコあかり」(場所: サザンびあせんなん、来場者約500名)

10/18「せんなんマルシェ」 (場所: 南部防災拠点、来場者約2000名)

2/13～4/8 企画展「泉南市は世界的なタコ壺のまち展」

(場所: 埋蔵文化財センター、来場者862名)

■本事業の紹介

日本経済新聞 (5/27夕刊)
産経新聞 (5/29朝刊)
中日新聞 (5/31朝刊)
信濃毎日新聞 (6/2夕刊)
中国新聞 (6/4朝刊)
京都新聞 (6/4朝刊)
毎日新聞 (6/9朝刊)
MBS「ちちんぷいぷい」 (6/19放送)
NHKラジオ第一「旅するラジオ・旅ラジ!」 (7/27・岡田浦漁港から生放送)
JCOM「関西 TODAY」 (8/26放送)
ふぁみりー泉州 (11月号 No.166号)

10-3 郷土カルタ作成事業

- ・住民が、「まちの魅力(=文化財)」を認識するための、きっかけと場と機会の創造を目的とする。
- ・「誰でもウェルカム」のオープンでフラットな場でのカルタづくりを志向することで、ひとりでも多くの住民が「まちの魅力(=文化財)」発信の担い手となることが見込まれる。
- ・今年度は、カルタの印刷と配布・販売のほか、普及を目的とした企画展およびカルタ大会を実施し、事業を終了した。
- ・事業終了後、住民有志によるカルタの増刷と普及を目的とした実行委員会の立ち上げにつながった。

【事業概要】

- 本事業に参画した住民 のべ82名
- ワークショップの参加者 10名 (のべ59名)
「絵札の構図をきめる」4/21 (9名)、4/28 (8名)
「札や箱のデザインをきめる」9/17 (9名)、10/1 (10名)
「原稿の最終確認」10/15 (7名)
「遊び方のルールをきめる」10/22 (7名)、10/29 (9名)
- カルタの印刷と配布
印刷部数1000部。うち無料配布852部、販売用148部
【無料配布の内訳】 片内: 316部、協力者: 74部、保育所・学校: 391部、団体: 7部、近隣図書館: 24部、福祉施設: 40部
- カルタ発行の周知
カルタ大会
「ええとこいっぱい! せんなんかるた発行記念カルタ大会」 (1/9)
会場: 埋蔵文化財センター
来場者: 約50名 (内訳: 参加者19名、メンバー11名、協力者2名)
「全校対抗せんなんかるた大会」 (2/8)
会場: 東小学校、参加者: 62名、メンバー: 10名
- 企画展示
せんなん郷土カルタ展 (11/8～3/31)
会場: 埋蔵文化財センター、来場者数: 1667名
- 本事業の紹介
ふぁみりー泉州 (11月号 166号)
産経新聞 (12/16朝刊)
ふぁみりー泉州 (1月号 168号)
ふぁみりー泉州 (2月号 No.169号)
おかあさんチョット (2月号 341号)
JCOM りんくう『ホームタウンウィークリー』 (2/7～2/13)
- 住民有志による実行委員会立ち上げのための検討会 (2/24、3/25)

01

海会寺ハスいっぱいプロジェクト2015 ニュースレター

第1回 ワークショップ

まずは話し合う



日時：平成27年3月5日（木）

10：00～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：14名

■スケジュール

10：00 自己紹介

10：10 昨年の振り返り

10：30 良かったところ、もう少しだったところ

11：40 今年の取り組みの方向性

■まずは意見交換から 今年の取り組みにむけての初めての話し合い。新規加入の方、2名を含みます。スライドで昨年の活動をみての振り返り。「良かったところ」と「もう少しだったところ」を各自5枚以上、付せんに書きだして、今年の取り組みの方向性について話し合いました。



「海会寺ハスいっぱいプロジェクト」とは？

埋蔵文化財センターで、古代ハスを栽培し多くの方がある空間（埋蔵文化財センター）の楽しみ方を考え、実践するとりくみにしたいと考えています。育て、増やして、楽しんで、ハスの花で埋文と海会寺の（あつた史跡公園）をいっばいにしよう！が目標です。

育てるハスは当時のもの

栽培するのは古代ハスとして知られる「大賀ハス」の子どもたち（大賀ハスの子世代のレンゴン）。約2000年前の地層から見つかったとされるものです。レンゴンが特産の徳島県板野郡板野町にある徳島県立埋蔵文化財センターから譲ってもらったもの。今年は鉢を増やすことができそうです。

海会寺といえはハスの花 飛鳥時代、国内屈指の寺院だった国史跡海会寺跡。海会寺の軒先を飾った軒丸瓦のデザインは、ハスの花をモチーフにしたものでした。その端正なデザインからは、海会寺が建立された年代やその背景が読み取れるだけでなく、当時の人々の心に触れることができます。

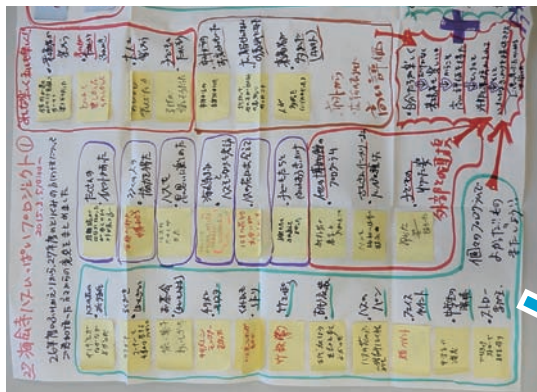
ハスの花でいっばいだった海会寺を再び

かつての海会寺は、ハスの花をモチーフにした軒丸瓦でいっばいでした。この取り組みは、ふたたび海会寺跡をハスの



海会寺の軒先を飾ったハスの花の文様の軒丸瓦

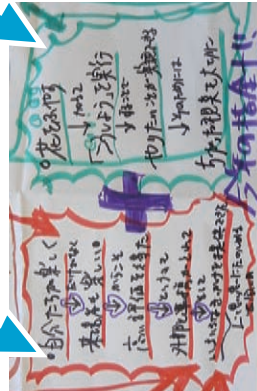
昨年に埋蔵文化財センターで咲いた古代ハス



昨年の取り組みで「よかったところ」



昨年の取り組みで「もうひとつだったところ」



「よかったところ」+「もうひとつだったところ」で見えてきた今年の取り組みの方向性

■ふりかえってみてよかったこと

とりあえず幅えることから始めた昨年の取り組み。にもかかわらず、花を咲かせ、「ハスフェスタ」では400人ほどの来場者をつめたこの取り組み。今年度の方向性について考えてみました。

昨年の取り組みで「良かったところ」と「もうひとつだったところ」を付せんに書き出し、グループング。気づいたことについて話し合いました。最後になってメンバーさんの指摘で気づいたのですが、「昨年の振り返りのときとはほぼ同じ（ニュースレター09 参照）内容。驚きました。

■次回以降のできない「ハスの植え替えを行います」

昨年、見事な花を咲かせた、埋蔵文化財センターの古代ハス。今年もさらに多くの花を咲かすため、植え替え作業を実施。一般参加も大歓迎です

【とき】4月15（水）・16日（木）午前10時～

maibun@city.sennan.lg.jp

【ところ】泉南市埋蔵文化財センター

【申込み】ファックスかメールで埋蔵文化財センターまで。ファックス番号483-7089、メールアドレス

maibun@city.sennan.lg.jp

TEL072-483-6789 メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

20

海会寺ハスいっぱいプロジェクト2015 ニュースレター
第2.3回 ワークショップ

植替えが早く終わったので
日程と、内容も話し合う

■予定より早く済んだので…
はすの植え替え作業に、2日間を見込んで予定を組んでいたのですが、見込んでいた時間の半分（一日）で済んでしまいました。翌日も皆さんの日程を確保していたので、話し合いを行うことにしました。お題は、日程と内容の確定です。

■ハスの植え替え

日時：平成27年4月15日（水）10：00～12：00
場所：泉南市埋蔵文化財センター
参加人数：6名

日程と内容の話し合い

日時：平成27年4月16日（木）10：00～12：00
場所：京南市埋蔵文化財センター
参加人数：9名



①台車で移動。花壇のところまで



② 高圧洗浄機を使って根を掘り出しました



③けっこう根を張っています



⑥肥料はなし、田んぼの土



⑤各鉢に2本、レンコンを植えました



④まっすぐ育ったハスだけを、植え替え



⑦かなり重い！

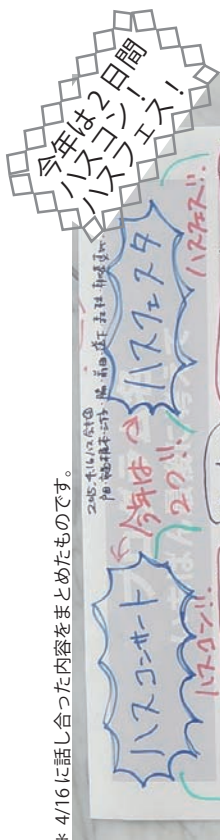


⑧植えたレンコン ⑨真ん中に太いの、端に細いのを



⑩最後ににっこり、お疲れさまでした

* 4/16に話し合った内容をまとめたものです。



ポーチュラカの植え替えをしませんか？

花チームが160株をコンテナなどに植えかえます。

【とぎ】6月29(月)午前10時～

*時間など、泉南市埋蔵文化財センターまで

次回のご案内

【とき】 5/7 (木) 10:00 ~ 12:00

【内容】・プログラムを細かく決める。

- ・ブースの配置を考える。

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

03

海会寺ハスいっぱいプロジェクト2015 ニュースレター

第4回 ワークショップハスコン・ハスフェスの こまかいところから決める！

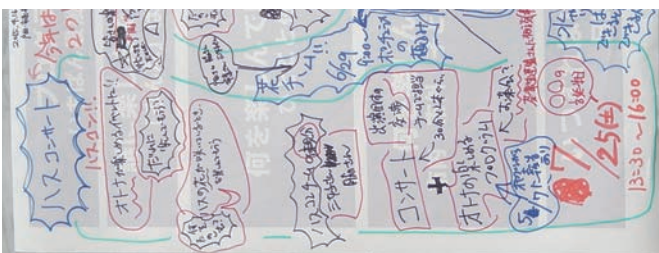
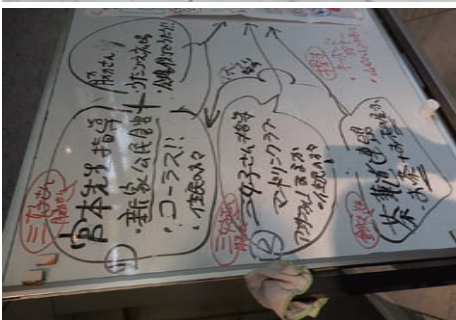
日時：平成27年5月7日（木）

10：00～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：9名

■何を誰が？で考えてみる 昨年大人気だったハスフェスタに加え、今年はハスコンサート（ハスコン）も開催。今回のワークショップでは、どんなアクセルを踏み込んでいく皆さんを、邪魔するよな問いかけから始めてみました。というのも、昨年と同様に「忙しさを楽しむ」だけではなく、スタッフのみならず「忙しさを楽しむ」余裕がほしいとの意見を大切にしたいからです。



■ハスコンサート
7/25（土）に開催するハスコンサート（ハスコン）。ちよっと大人のイベントです。
ハスの花が見ごろになるであろう時期に、住民の方々のコーラスと、マンドリンアンサンブルのコンサートを開催。市内にはコーラスグループがいくつもあり、客席でそれらのグループが一緒に合唱することになりそうです。
にぎやかな会場を出れば、ロビーでは、泉南市茶華道連盟さんによるお茶会とお花の展示を実施（相談中）。ハスの花が見下ろせる近所には長椅子を設置。涼しい館内から眺める、ハスの花を楽しむ工夫です。

（左上・下）5/7の話し合いの成果、（右）4/16の話し合いの成果



（左）4/16の話し合いの成果、（右）5/7の話し合いの成果

■ハスフェスタ

8/7（金）に開催するハスフェスタ（ハスフェス）。「プログラムを楽しむ」だけでなくスタッフの方も「忙しさを楽しむ」余裕をつくることを心掛けて丁寧に話をしてみました。
その結果、昨年実施した「ハス色ミサンガづくり」は封印することに。そのほかに、プログラムを合体（フェイスペインント＋貫頭衣試着＋ストロー管玉作りを一緒にブースで実施）し、担当の人数を増やすことで「たのしめる余裕」を引き出すことにしました。

ポーチユカの植え替えをしませんか？

花チームが160株をコンテナなどに植えかえます。

【とき】5/14（木）10：00～12：00

【とき】6月29（月）午前10時～

＊時間など、泉南市埋蔵文化財センターまで

この取り組みに、参加してみたい方大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL072-483-6789 メールアドレス：maibun@city.seman.jp

【お願いです】担当を決めていない人は、どれをやるかを考えてみてください。担当が決まっている人は、実施場所・時間帯・定員・参加費の有無を考えてみてください。

04

海会寺ハスいっぱいプロジェクト 2015 ニュースレター
第5回 ワークショップ

自分の受け持ちを考える

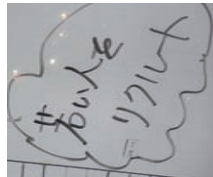
日時：平成27年5月14日（木）
10：00～12：00
場所：泉南市埋蔵文化財センター
参加人数：9名
■全体を考えてみる 前回決まった「やってみ
たい」＋「無理をしない程度」のプログラム。
この日はそれがするの、再度確認したあと、担
当ごとにプログラムの内容、対応できる人数、必要
な準備物、次回の打合せ内容と打合せ日を含め、自分
たちが「より楽しめる」ための内容に！と話し合いました。
右の写真は「より楽しめる」の具体的な形です→

■ハスコンサート

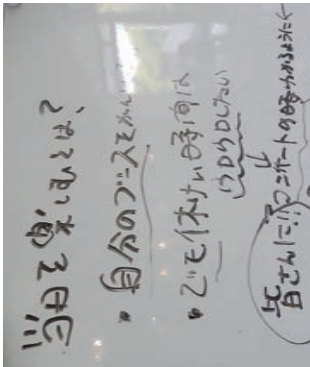
7/25（土）に開催するハスコンサート（ハスコン）。
ちよっと大人のイベントです。ハスの花が見ごろに
なるであろう時期に、住民の方々のコーラスと、マ
ンドリンアンサンブルのコンサートを開催。市内に
はコーラスグループがいくつももあり、客席でそれら
のグループと一緒に合唱することになりそうです。

■ハスフェスタ

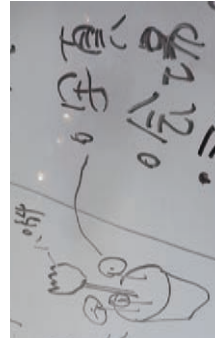
8/7（金）に開催するハスフェスタ（ハスフェス）。
親子連れなど大人と子どもで楽しめるイベントです。
残念ながら、ハスの花が見ごろを過ぎたあたりに
なるうかとは思われますが、「ハスの花のある場所＝
博物館」を楽しめるプログラムを、今年もたくさん
用意できそうです。



↑やっぱり必要？！



各演目は30分、60分の休憩時間をさします。
にぎやかな会場を出れば、ロビーでは、泉南市茶華
道連盟さんによるお茶会を実施。大人向けの行事な
ので最での所作も見ただけのように工夫すること
になりました。
ハスの花が見下ろせる近所には長椅子を設置。涼
しい館内から眺める、ハスの花を楽しめる工夫です。



↑ハサチの写真を斜に突き刺せ！
ハスの花をみてもらう新たな工夫
館、「星形幻玉作り」池上曾根弥生学習館、「液体ちっ
素の美観」大阪ガス科学館、「チリメンモンスター」
きしわだ自然資料館です。
自主イベントでは「なりきり原始人（フエイスペイ
ント＋貫頭衣試着＋ストロー管玉作りを一緒にブー
スで実施）」、ハスの折り紙教室、ハスバンとジェ
スの販売です。

【うれしいお知らせです！】
5/22の夕方「ハスフェスタは今年もやるのか？」との問い合わせがありました。
子どもが楽しみにしているので問合せたとのこと。今年もしますと伝えると喜んでおられました！

自主プログラムと役割分担（話し合いの内容を簡単にまとめたものです）

	ハスコンサート（ハスコン）	ハスフェスタ（ハスフェス）	8/7
日時	7/25（土） 13：00～15：00	8/7（金） 10：00～15：00	
チーム名	マンドリン ギター アンサンブル	泉南市 茶華道 連盟有志	信達中学校 ギター マンドリン部
担当	三好さん メンバー ●名	宮本先生 メンバー ●名	三好さん メンバー 18名
料金	大人 300円 子ども 100円	前田さん 真鍋さん	戸田さん 脇さん 金森さん 矢野さん 市道さん 桐本さん 松熊さん
参加人数	100名	各100個 計200個	
次回 打合せ	6/28（予定）	6/11 10：00 試食	7/27 10：00 作業と準備

■来場者とスタッフにストレスのないタイムテーブルを！ハスフェスタ

今年のハスフェスタで工夫してみようと思ったのは、来場者の誘導。去年はプログラムまわりの人があふれ
かえって、スタッフも大変な思いをしたからです。去年は午前中にプログラムまち、午後にそれらの人たち
がプログラムに殺到していました。なので今年は、午前中にコンサート・午後に大阪ガス科学館さんの人気
プログラムをはじめなど、人の流れを考えながらタイムテーブルを組んでみることにしました。

ポーチュラカの植え替えをしませんか？ 次回のご案内 ハスプロ定例会です
花チームが160株をコンテナなどに植えかえます。 【とき】6/11（木）10：00～12：00
【とき】6月29（月）午前10時～ 【内容】・チラシなど広報資料の確認。
＊時間など、泉南市埋蔵文化財センターまで ・ハスバンの試食会。

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！
問合せ：ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL.072-483-6789 メールアドレス：maibun@city.semamih.jp

【宿題です】若い人がほしい！との意見がありました。皆さんのまわりで、協力してくれそうな人を、
説得してメンバーになってもらいませんか？

06

海会寺ハスいっぱいプロジェクト2015 ニュースレター
第7回 ワークショップ

ハスのまわりを花でいっぱい！

日時：平成27年6月27日（月）

10：00～11：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：7名

■花を植える、花を植える

昨年と同じく、市内を花でいっぱいにする取り組みで用意したポーチュラカの一部分を分けていただくことができました。mさんtさんのおかげです。その数160株。有志7人でプランターと前面の花壇に植え替える作業を開始。ひと段落したところで、ハスの植替えも実施。芽が出ていない3鉢のレンコンを確認したところ、新芽が腐っていたからです。



■花を植える

ここまで芽が出ていない鉢は3つ。前回(5/21)確認したところ、レンコンは腐っておらず、芽も出ているようなので、もう少し待ってみることに。ひと月ほどたっても芽が出ないので、レンコンを確認してみます。

掘り出したレンコンの芽が紫色になっています。



■花を植える

用意されたのはポーチュラカ160株。昨年もプランターで植えたところ、一か月ほどでかなり茂ってしまっような元気者です。今年は昨年のプランターに加えて、前面の花壇にもうえることにしました。水枯れに強く、育ちが早いので、楽しみです。



6/17に開花した古代ハス

6/29に発見した古代ハス2つめのつぼみ

■うまくいけばハスコンには花があるかも？

古代ハスの

生育状況が悪いようです。立ち葉も茂らず、つぼみも今のところ2つ確認されたのみ。

栽培種のハスも植えたのですがそこらは、ほとんどつぼみが出ているにもかかわらず



今年初めての花は6/17に開花。3日ほどしか楽しめませんでした。今年二つ目のつぼみは、6/29に発見しました。おおよそ開花までは3週間。7/25には花托になっていると思われる。

期待するべきは、3つめ以降のつぼみ。7月の初旬に芽が出ていると、ハスコン(7/25)にはちょうど咲いているのかもしれない。今年はぜひとも昨年より多くの花を咲かせてみたいので。

肥料をまいてみました

昨年購入した「じわじわ効く」肥料を各鉢に投下しました。今年初めてです。見込みではより育つはずなのですが、お楽しみに。

ポーチュラカの水やりをしませんか？

160株のポーチュラカに、水をやってみませんか？

ハスの様子を見に来るついでにいかがでしょうか。

【詳しくは】事務局までお電話で(483-6789)

ハスバンの試食の御案内

前回の話し合いで「原点回帰」にきまったハスバンの試食作品が7/25に登場。ハスコンサートの日に、

味見してみませんか？【問合せ】483-6789まで

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です！

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

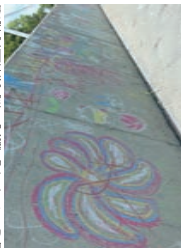
TEL:072-483-6789 メールアドレス: malbung@city.senri.lg.jp

【滑舌です】若い人がほしい！との意見がありました。皆さんのまわりで、協力してくれそうな人を、説得してメンバーになってもらいませんか？

07 無事に終了 ハスコン!ハスフェス!

6回のワークショップで準備してきたハスコンサートと、ハスフェスタと、ハスフェスタで賑わいでした。ハスコンサート(7/25)の来場者は159名。大人の雰囲気いっぱいコンサートでした。ハスフェスタ(8/7)の来場者は703名。親子連れの来場者が多数のプログラムを一日楽しんでいました。

「落書きバンザイ」協力：鳥取県立博物館



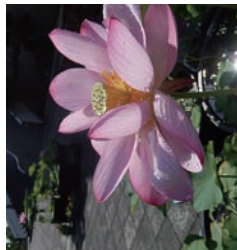
ハスコンサート



童謡ひろば

早春の和泉野、夏の思い出
ほか3曲

当日のハス
ハスコンサート(7/25)



今年初めての取組み ハスコンサート

7/25に開催したハスコンサート。大人のためのイベントとして企画しました。当日は見事な古代ハスの花がお出迎え。150名以上の方々に「古代ハスの花の咲く場所(まいぶん)」を、思い思いの形で、楽しんで頂くことができました。



前日の準備



小細屋かん野

古布の小物展



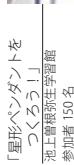
お茶席
泉南市茶事道連有志

海会寺ハスいっぱいプロジェクトの事業概要

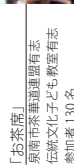
- 本事業に参画した住民 約70名
- ワークショップ 6回 参加者15名 (のべ61名)
内訳:3/5(14名)、4/15(6名)、4/16(9名)、5/7(9名)、5/14(9名)、6/11(14名)
- チームごとのあつまり 6回
パン販売の打合せ6/2(1名)、パン販売の打合せ6/15(2名)、ボーチャラカの植替え6/27(7名)、コンサート出演者打合せ7/1(4名)、会場用イスの借り受け運搬7/21(1名)、竹鉄砲づくり7/27(6名)、前日準備と搬入8/6(10人)
- イベント参加者
「ハスコンサート」159名
(内訳:来場者104名、出演者55名)
「ハスフェスタ」703名
(内訳:来場者563名、スタッフ15名、出演者等125名)
- 本事業の紹介
『ぼたビマガジン』6/26号
『ふみりー泉州』7月号No.162号
『あざひゆめぼっと』636号
『読売新聞』大阪版7/26朝刊
『ふみりー泉州』8月号No.163号
JCOM「ホームタウンウィークリー」(8/17～8/23)
『ふみりー泉州』9月号No.164号

ハスフェスタ

昨年以上の来館者 親子連れのための企画です。当日は703名の方々が「ハスのある場所(まいぶん)」で、ほぼ一日楽しんでいました。



「星形ペンダントをつくらう!」
池上尊経弥生学園
参加者150名



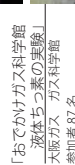
「お茶席」
泉南市茶事道連連有志
伝統文化子ども教室有志
参加者130名



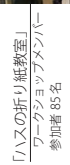
「ストローで管玉
ネットワークづくり」
ワークショップメンバー
参加者:113名



「厚紙トンボ」
青少年センター
参加者:100名



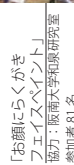
「おでかけカス科学館
液体ちっ素の実験」
大阪ガス カス科学館
参加者87名



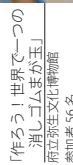
「ハスの折り紙教室」
ワークショップメンバー
参加者85名



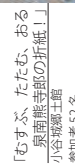
「ちりめんモンスター」
きしわだ自然資料館
参加者81名



「お顔にちくがき
フェイスペイント」
協力:阪南大学和泉研究
参加者81名



「作ろう!世界で一つの
消しゴムまが玉」
府立弥生文化博物館
参加者56名



「むすぶ、たたむ、おる」
泉南熊寺道
小谷城跡土庫
参加者52名



「マンドリンの調べ」
信達中学校
ギターマンドリン部
参加者50名



「竹鉄砲」
ワークショップメンバー
参加者50名



「楽しく!親子で遊ぼう」
子育て支援センター
ひたまり
参加者42名



「みんなでおどろいずみパンド」
参加者40名



「小細屋かん野作品展」
小細屋かん野



「ハスの花の写真展」
尾崎真一さん



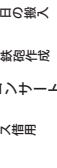
「限定!ハスの花のクリームパン」
協力:さんさんベーカリー
ワークショップメンバー
200個販売



「なりきり原始人」
協力:池上尊経弥生学園
・阪南大学



「落書きばんざい」
協力:鳥取県立博物館



「ハスフェスタの案内人」
ワークショップメンバー



「大学生と遊ぼう」
協力:阪南大学和泉研究
「登壇!泉南熊寺道」
泉南市のゆるキャラが出発



問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789 メールアドレス: maibun@city.semnan.lg.jp

ハスフェスタ

古代ハスの花の絵を楽しくするための絵の描き方講座
 古くから大切に育てられている「海会寺ハス」の歴史を学ぶ
 コンサート
 童謡ひろば
 「夏の思い出」「浜辺の歌」など
 マンドリンアンサンブルはるか
 「初恋」「紙すきの歌」など
 お茶席*有料
 泉南市茶華道連盟有志
 展示
 小細屋かん野 など

*この取り組みは
 育てているハスは
 「古代ハスの
 子どもたち」の
 公益財団法人
 徳島県
 埋蔵文化財センター
 からいただいたものです。

7月25日(土)
 午後1時から午後3時
 会場：泉南市埋蔵文化財センター

海会寺ハスいっぱいプロジェクト

申込み不要・入場無料・雨天決行

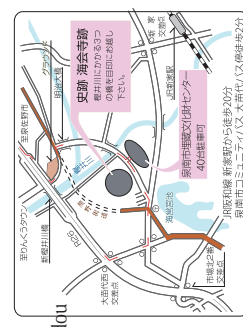
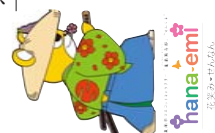
問合せ：電話 072-483-6789

大阪府泉南市信達大苗代 374-4

主催：泉南市教育委員会

協力：泉南市文化協会

(公財) 徳島県埋蔵文化財センター



【ご注意】当日午後11時の時点で、泉南市に大雨・洪水・暴風警報が発令されている場合は中止します

ハスフェスタ 2015 8/7 (金) 10:00~15:00

みんなで さかそう 古代ハス

住民の方々と一緒に、まいぶん（埋蔵文化財センター）を、ハスの花でいっぱい！を目標に、昨年5月から育てた古代ハスのお披露目イベント。ハスのある場所を、楽しむプログラムがいっぱい！

主催 泉南市教育委員会

協力（予定）一般財団法人小谷郷土館、泉大津市立池上曾根弥生学習館、大阪ガス ガス科学館、大阪府立弥生文化博物館、海会寺ハスいっぱいプロジェクトワークショップメンバー、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、きしわだ自然資料館、国登録有形文化財山田家住宅、公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター、子育て支援センターひだまり、さんざんベーカリー、泉南市文化協会、泉南市立信達中学校、鳥取県立博物館、阪南大学国際観光学部と泉研究室

会場

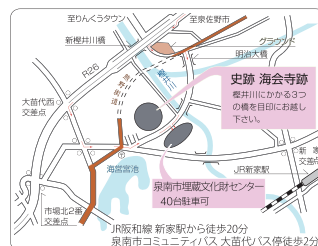
泉南市埋蔵文化財センター

問合せ：072-483-6789

所在地：大阪府泉南市信達大苗代 374-4
 アクセス：JR阪和線新家駅から徒歩20分、泉南市コミュニティバス「大苗代」バス停より徒歩2分*駐車場に限りがあります。会場へは、泉南市コミュニティバスが便利です。

【悪天候の場合は中止です】

当日午前8時の時点で、暴風・大雨警報・暴風警報・洪水警報のうちのいずれかが、大阪府全域・泉州地域・泉南市のいずれかで発令されている場合は、中止です。



大学生のアイデアをもとに住民が考えた 20160127 版 せんなんタコ壺プロジェクト 企画案

泉南市は、世界的なタコ壺のまち*であり、おいしいタコの獲れるまち**でもあります。にもかかわらず、それを知る市民も少なく、そのことを知ることのできる場と機会が皆無といっても過言ではありません。言い換えれば、泉南市は「まちの特徴（タコ壺、おいしいタコ）を活かしきれていない」ともいえます。

このプロジェクトは、プロジェクトの過程や、参加した市民が楽しむ様子を積極的に公開することで、今よりも多くの人に「泉南市＝世界的なタコ壺のまち＝おいしいタコの獲れるまち」であることを知ってもらうことを目的とします。これにより、泉南市が今以上に、多くの人にとって魅力あるまちとなるはず です。

企画1「せんなん戒煙遺跡のタコ壺をつくる！」

「泉南市＝世界的なタコ壺のまち」であることを知ってもらうためのプログラム。学校教育と、生涯学習の場で実施します。発掘調査の成果をもとに、むかしと同じ方法でタコ壺をつくる参加体験型学習です。

主催：泉南市教育委員会（せんなんタコ壺プロジェクトメンバー）
協力：市内小学校

雄信小学校 6/19 → 焼直し 6/22
樽井小学校 6/25
一丘小学校 7/6

「タコ壺作り」+ タコ壺の話

「まいぶんクラブ」5/9・埋蔵文化財センター行事

雄信小学校 6年 5/19 出張授業

西信達小学校 6年 5/21 出張授業

樽井小学校 6年 5/26・出張授業

一丘小学校 6年 6/15・出張授業

漁に使うタコ壺製作
プロジェクトメンバーのみ 5/7・5/25

雄信小学校で焼く 6/19 → 焼直し 6/22

「タコ壺焼き」*各小学校で実施

企画2「実験！昔のタコ壺でタコが獲れるか」

「泉南市＝おいしいタコの獲れるまち」であることを知ってもらうためのプログラム。企画1で作ったタコ壺でタコ壺漁が実施できるのか、地元漁協の協力を得て実験します。プラスチック製の現代のタコ壺も併用し、どちらが沢山獲れるのかも比較する予定です。

主催：泉南市教育委員会（せんなんタコ壺プロジェクトメンバー）
協力：岡田浦漁業協同組合
阪南大学和泉研究室

5/1 漁協さんへ相談

5/18 漁協さんへ協力の依頼

「タコ壺の設置」6/23・10：00～

*プロジェクトメンバーのみ
(協力：岡田浦漁業協同組合)

「タコ壺の引上げと試食」6/30
10：00～
協力：岡田浦漁業協同組合
阪南大学和泉研究室

企画3 プロジェクト成果展

泉南市は、世界的なタコ壺のまちであり、今もおいしいタコの獲れるまちでもあることを、多くの人に知ってもらうためのプログラムです。

「せんなんタコあかり」企画1・2の成果展示と、企画1で小学生が作ったタコ壺でイルミネーションを実施します。「泉南は世界一のタコ壺のまち展」タコの生態、タコ壺の歴史、これまでの取組みの紹介と専門家からのフィードバックなどを企画展「泉南は世界一のタコ壺のまち」を開催します。

主催：泉南市教育委員会（せんなんタコ壺プロジェクトメンバー）
協力：SENNAN まちづくり市民会議、(財)大阪府文化財センター（予定）、阪南大学和泉研究室、きしわだ自然資料館、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所、泉南市教育委員会、岡田浦漁港

成果展をつくる①
7/24 「アイデアをかためる」

成果展をつくる②
7/31 「具体的に作る」

成果展をつくる③
8/20 「幟の作成」

企画3「プロジェクト成果展」
8/29 「せんなんタコあかり」
協力：企画1に参加した市民

企画3「プロジェクト成果展」
10/18 (日) 泉南マルシェにて
泉南市商工会からの出展依頼

企画3 プロジェクト成果展
「泉南は世界一のタコ壺のまち展」
期間：2016・2/13 (土)～4/9 (土)、
会場：埋蔵文化財センターにて

企画1のタコ壺の持ち主に協力を呼びかけ、8/29開催の「サンセットフェスタ（主催：SENNAN まちづくり市民会議）」で展示。会場：せんなんわくわく広場。

* 泉南市では、弥生時代から現代まで、数千年間にわたりタコ壺漁が生業のひとつと営まれてきました。なかでも、戒煙遺跡は、「タコ壺づくりの村」がみつかっており、タコ壺漁の歴史を知るうえで世界的な遺跡と言えます。このことから、泉南市は「世界的なタコ壺のまち」と言っても過言ではありません。それにもかかわらず、それを知る泉南市民は、ほとんどいません。

** 泉南市でとれるタコは「やらこうて、うまい！」と昔から言われます。おススメの食べ方は、獲れたて、ゆでたてのタコの足を、マヨネーズをつけてがぶっとまるかじり。でも、このおいしさを味わったことのある市民は多くはありません。「やらこうて、うまい！泉ダコ」が、目の前の海でとれるにもかかわらず、他地域でとれるタコを食べているからです。

【大阪湾でのタコ壺漁】豊かな恵みを効率的に活用するための知恵から生まれた漁法と考えられます。海中に投下して、気の向いたときにタコ壺を引き上げにければ、「おかず程度」のタコがいつでも獲れるからです。田畑を耕しながら、海でほかの魚をとりながら、タコをとることができるのです、今でこそタコ漁が盛んになっていますが、暮らしに根付いた、伝統的な漁法と言えます。

05

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

もう一度よく話し合う

考えてみよう！

【今日の目標】
3月に住民で考えた3つの企画(ニュースレター 04 参照)
を、さらに練りあげた。話し合いで意識したのは、
前回あるかいったった、「なぜするか(企画の根っこ)」
と、「誰がやるのか(主催者は誰か)」です。

話し合いの前提

この取り組みで大切なことのひとつが、一緒に活動してくれる仲間や団体をつかまえること。「タコ壺漁」では一緒に活動してくれる人、「タコ壺ライフづくり」では協力してくれる人、学校の授業で「泉南市」はタコ壺をつくりながら学び、149 箇のタコ壺を「タコ壺ライフアップ」にお借りできようです。

埋文では5/9に「タコ壺づくり」実施決定

これまで一緒に取り組んでくださった阪南大学泉研究
室の皆さん。今年度も引き続き一緒に取り組むこと
になるのですが、一緒に参加するのは「タコ壺漁」
の実施日となりました（「タコ壺漁」が実施できるか
どうかまいことと未確定）。事前の打ち合わせなど
が必要場合、数名が参加できるかもしれません。

「タコあかり」に市内小学校2校が協力予定

前回考えた企画案では、「小学校の授業でタコ壺を
つくってもらう」ことで、泉南市市界隈的なタコ壺
のまちであることを知ってもらう、小学生がつくつ
たタコ壺を借りて「タコ壺三日月祭」に流し入る

実施するといふものでした。

＊タコ壺づくりをしてみたい！という方は、
埋蔵文化財センター（072-483-6789）まで。



「タコ壺づくりをしてみます?」との質問に拳手をする皆さん。やる気満々です!

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789 maibun@city.sennan.lg.jp

■次回の予定	日時	内容
	5/15(木)	タコ通し

*この日の予定は、変更の可能性があります。

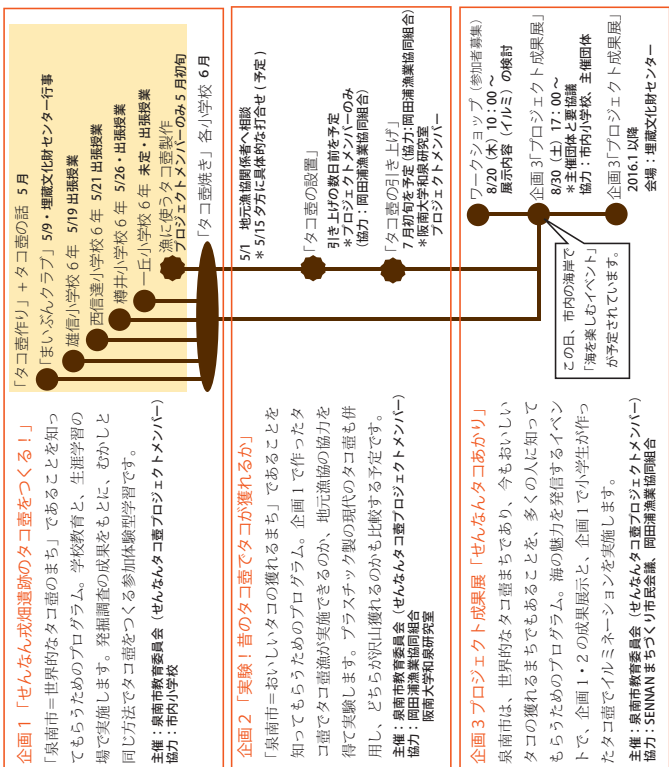
＊その日の夕刻に、漁船がもへ相澄に行く予定です。

4/17に住民の皆さんが考えた企画をまとめたものです。

せんなんタコ壺プロジェクト 企画案

泉南市は、世界的なタコ壱のまち*であり、おいしいタコの獲れるまち**でもあります。にもかかわらず、それを知る市民も少なく、そのことを知ることのできる場と機会が皆無といっても過言ではありません。言葉換えれば、泉南市は「まちの特徴（タコ壱、おいしいタコ）を活かしてきていない」といえます。

このプロジェクトは、プロジェクトの過程や、参加した市民が楽しむ様子を積極的に公開することで、今よりも多くの人に「泉南市＝世界的なタマシ蘆のまち＝おいしいタコの獲れるまち」であることを知らせてもらうことを目的とします。これにより、泉南市が今以上に、多くの人にとって魅力あるまちとなるはずですよ。



* 泉南市では、弥生時代から現代まで、数千年間にわたるタコ漁業が生業のひとつと営まれてきました。なかでも、城辺遺跡は、「タコ漁づくりの村」がみつかっており、タコ漁業の歴史を知らううえで世界的な遺産と言えます。このことから、泉南市は「世界的なタコ漁づくりの村」と言っても過言ではありません。それにもかかわらず、それを知る泉市民は、ほとんどいません。

「** 泉都市でとれるタコは「やらこうて、うまい！」と昔から言われます。おスメの食べ方は、獲れたて、ゆでたてのタコの足を、マヨネーズをつけてがぶつとまるかじり。でも、このおいしさ味わったことのある市民は多くはありません。「やらこうて、うまい！ 泉タコ」が、目の前の溝でとれるにもかかわらず、他地域でとれるタコを食べているからです。」

【大阪湾でのタコ漁】豊かな恵みを効率的に活用するための知恵から生まれた漁法と考えられます。海中に投下して、気の向いたときにタコを引上げれば、「おかげ程度」のタコがいつでも獲れるからです。田畑を耕しながら、海でほかの魚をとりながら、タコをとることができるのです。今でこそカゴ漁が盛んになっていますが、暮らしに根付いた、伝統的な漁法と言えます。

■次回の予定	日時	内容
	5/15(月)	タコ通し

*上記の予定は、天候や会場都合により変更される場合があります。

企画の工程をきめる



*意見のみの参加も大歓迎です。アイデアを事務局まで。

せんなんタコ壺プロジェクト 企画案

さらにタコ壺を上げ上げにいわは、「おかす程度」のタコがいっで
タコをとることができるのです。今でこそカゴ漁が盛んになってい

07

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

企画1の実施

「せんなん戒烟遺跡のタコ壺をつくる」

【企画1】せんなん戒烟遺跡のタコ壺をつくる

企画1は「泉南市＝世界的なタコ壺のまち」であることを知ってもらうためのプログラム。タコ壺漁と地域との歴史的なかわりについて説明を受けた後、タコ壺づくりを各自で行います。「生涯学習の場（まいぶんクラブ）」と、「学校教育の場（出張授業）」で実施しました。

ここでは、事業に参加する住民が楽しんでいる様子も、積極的に公開したかったので、報道機関へのリリースを5/20に実施。結果複数の媒体で取り上げいただけたことができました。

【結果報告】皆さんの笑顔が全国で紹介！

まずは理由を聞いて、そのあとタコ壺づくり
参加者は、「泉南市が世界的なタコ壺のまち」である理由について説明を受けます。市内では戒烟遺跡など世界的にも珍しいタコ壺づくりの村が発掘調査でみつかったこと、しかも卑弥呼が生まれるまえ（弥生時代）から現在までタコ壺漁が続いていることなど、結構難しい内容も。タコ壺をつくるだけではなく、結核菌も。

八割が納得「泉南市は世界的なタコ壺のまち」
小学校には、プロジェクトメンバーが「先生役」として児童たちと一緒にタコ壺づくりを実施。児童や先生たちと一緒にタコ壺づくりを楽しみました。小

はたして「世界的なタコ壺のまち」だとわかってもらえたのか？
小学校で実施した出張授業のアンケートより

	【質問】「泉南市は、世界的なタコ壺のまち」だと思いませんか？		【質問】「泉南市が世界的なタコ壺のまち」だと誰かに教えてみようと思いますか？	
	思う	思わない どちらでもない	思う	思わない どちらでもない
樽井小学校	81%	19%	71%	29%
西信達小学校	87%	13%	87%	13%
雄倉小学校	86%	14%	86%	14%
一戸小学校	76%	24%	41%	59%
平均	83%	17%	71%	29%



なぜそこまで？のタコ壺づくり

テレビ番組の中継当日、タコ壺の野焼きをしたのですが…前日の雨で地面がぬれていたためか、温度が上がらずまさかの失敗。結構難しい作業です。おかげで「ここまでしてタコ壺をとる訳は？」と昔の暮らし方を考えるきっかけになりました。

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789 mabun@city.sennan.lg.jp

■報道機関などの取材・紹介*予定も含む
読売新聞 (6/19取材)、JCOM (6/19取材)、NHKラジオ第一「旅するラジオ・旅ラジ！」(7/27:0:30から岡田浦漁港で生放送の予定)

さらに⑤一緒に活動をしてくれる人たちの増やすことができれば、今回のテーマであるタコ壺に限らず、泉南市の魅力を使った同様の取り組みが、継続していくこともできるのではないだろうか。



09

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014

ワークショッップ

「せんなんタコあかり」を考える



2日間の話し合いで決める「せんなんタコあかり」
残る企画はあとひとつ「せんなんタコあかり」の
成果を、一人でも多くの人に知ってもらおうことが目標
の成果展で、いまのところ、機会は3回。8/29に
実施されるサンセットフェスタ、10月に予定されて
いる商工会の地産地消イベント、来年1月に埋蔵文
化財センターでの企画展示です。

これまでの取り組みの成果展なので、何をどのよう
にして伝えるのか? けっこう難しい作業です。

ワークショッップ①
7/24 10:00～12:00 参加者: 13名
「来場者に何をしてもらう?」

ワークショッップ②
7/31 10:00～12:00 参加者: 10名
「成果展のデザインを決める」



1日目 サンセットフェスタとは?

これまでの成果を多くの人に知ってもらおうのがこの
取り組みの目標なのですが、その舞台であるサンセッ
トフェスタについて、主催団体の方から説明を受け
ました。

開催日は8月29日、会場はマープルビーチ。ステラ
ジイベントを野外で、しかも夕日を背景に行われま
す。暗くなるとウミホタルの観察会も実施。会場で
は泉南市の新たな名産品であるサトイモ焼酎の紹介
や、岡田浦漁協によるタコ料理なども楽しめるよう
です。

1日目 来場者に何をしてもらう?

ここまでの成果を、一人でも多くの人に知ってもら
うには…どんな行動をとってもらおうの? いろいろ考
えてみました。

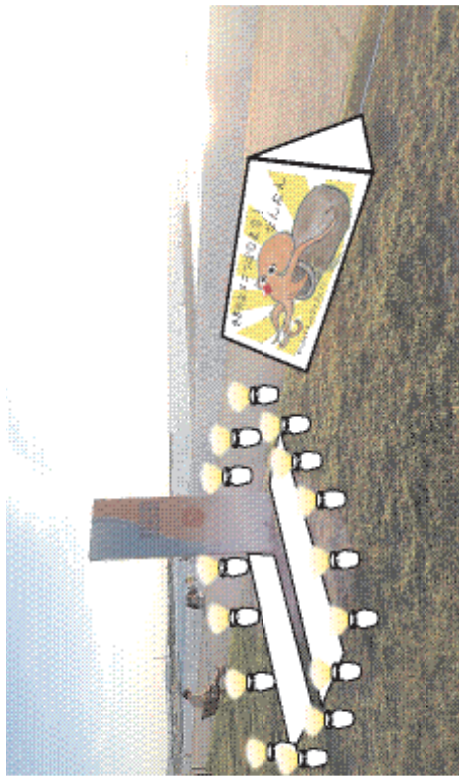
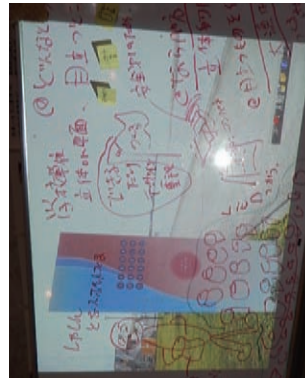
パネル展示にする、映像を見せる、画像を見せるな
どとその後どうなるのかを考えてみると、写真

撮影をしたくなる場所づくりをすることになりまし
た。消えてなくなる記憶ではなく、写真として記録
に残してもらえば、SNSで拡散も見込めます。

それならと、場所を考えているうちに、広場にある
モニメントを使用することで決定。夕日がきれいな
撮影スポットとして絶好の位置だからです。モニメ
ントの周りに、高低差をつけてタコ壺を並べるこ
とにしました。

1日目 とにかく目立つ工夫を!

当日は狭い会場に、たくさんさんのブースが出ます。ひ
っそりとしているだけでは埋もれてしまうので、何と
か目立つ方法を考えてみることにしました。
まずはLED照明の使用。クリスマスなどで見かける
ものでイルミネーションにする案です。加えて「大
漁旗を作ろう!」の意見も。デザインは、次回まで
の宿題としました。



↑サンセットフェスタでの展示風景の予想図

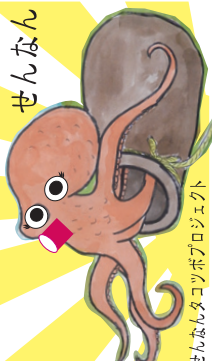
2日目 壺の並べ方をイメージする

前回決まった場所でのタコ壺の見え方を、館内で再
現してみました。高低差がないので、あまりみづえ
がしがないとの意見もありましたが…小学生たちの作
品の安全を優先することにしました。展示に要する
時間は2人で30分。撤収だともう少し時間がかか
るかと思われます。

2日目 LED 電球にするか?

前回の話し合いのあと、日没の時間帯はどのような
感じなのかを事務局で確認してみました。上の写真
が、日没直前のもので、思ったよりも明るい状
態です。当日の日没は6:30。ステージイベントは
7時頃までで、その後はウミホタルの観察会に人が
流れます。おそらくなのですが、真っ暗になったこ
ろには、人はほとんど残っていないと考えられます。
これを前提に考えたところ、LEDの電飾は使用しな
いことにしました。光っていること自体気づいてく
れないかもしれないからです。その代わりに当初の
ローソク案に回帰。メンバーが作った15個のタコ
壺のなかにローソクを入れて燃やすことになりました。

世界的なタコつぼのまち!



2日目 旗にするか?

旗のデザインは、5つの案が出ました。かなりみな
さんの好み! のようです。あれこれデザインの意
見が出たところで、そもそも論に話は進みました。
旗を作るのではなく、この旗で何かのメッセージを
伝えよう! という意見です。つまり、目立つことで
人を引き寄せ、今回の取り組みの成果をメッセー
ジとして伝えることができるデザインに使用という意
見です。あれこれ考えるうちに出したのが上の絵。メッ
セージは「世界的なタコつぼのまち! せんなん」。旗
ではなく、地上に設置することになりました。

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です!
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL.072-483-6789 mailbun@city.sennan.lg.jp

■次回の知らせ「旗づくり」
日時 8/20(木) 10:00～16:00 埋蔵にて
旗づくり (汚れてもいい服装で
※ おのころはんが必要になると思います)

10

阪南大学と取り組む文化財を活かした地域づくり 2014 企画3の実施 「せんなんタコあかり」



おいしいタコが
はいってだよ！

【企画3】昔のタコ壺でタコが獲れるか
企画3は、泉南市は世界的なタコ壺のまちであり、おいしいタコの獲れるまちであることを、多くのの人に知ってもらうためのプログラム。
池の魅力を知らってもらうためのイベント「サンセットフェスタ」でブースを設置してもらい、プロジェクト成果展「せんなんタコあかり」として、事業の成果を来場者に見てもらえるようにしました。

■企画実施にかかる準備

- 「プロジェクトのはたづくり」場所：埋蔵文化財センター
8/20（木）参加者10名（防炎シートにペンキで絵を描く）
- 企画実施日と来場者数
「せんなんタコあかり」場所：サザンビレッジせんなん
8/29（土）17:00～19:00 ※来場者数約500名（推測）
- 報道機関などの取材・紹介※予定も含む
JCOM「関西TODAY」(8/26放送・プロジェクトの紹介と「せんなんタコあかり」の告知)

【結果報告】約500名に成果をお披露目

当日は残念ながら曇り時々雨。夕陽は見られませんでしたがおおそく約500名。たくさんの人たちに、今回のプロジェクトの成果を見ていただくことができました。

小学生が家族で来場

300個ほど並んだタコ壺に、タコのイラスト、タコの折紙、各小学校の立札をトッピング。自分の作ったタコ壺を見に来て親子連れも多く、一生懸命探して、見つけて記念撮影をする親子も。

雨模様だったので、撤収は17時からはじめましたが、撤収後に「僕のタコ壺は？」と見に来て小学生もいたほど。家族3世代5人で嬉しそうに持って帰りました。

さらに後日なのですが…「19時半に行ったのに、もう終わってた！」とのタコ壺の持ち主も。タコ壺をつくった方々も、皆さん楽しみにしていたことがわかります。

次につながりました！商工会からの依頼

10/18（日）に今回のような成果展を開催することになりました。泉南市商工会からの依頼です。「泉南マルシェ」という泉南市の産品のPRイベントです。テーマは「タコ」で、「やらこて甘い」をより多くの人に知ってもらうことで、消費拡大につなげる狙いがあるそうです。会場は、りんくう体育館（大阪府南部広域防災拠点）です。

ブースの中身はこれから皆さんと考えていきたい



プロジェクトのはたづくり

今回は「サンセットフェスタ」という、メインイベント中のブースなので、目立つようにと…旗をつくりました。旗に使用したのは、1.8m×3.4mの防炎シートと、水性ペンキ。手間は、下絵を作成し、液晶プロジェクターで下絵を投影、マジックで塗りつぶします。あとは水性ペンキで塗れば完成。みなさん結構楽しんで作業していました。



■次回の印刷は「泉南マルシェ」の中身を考える
日時 10/18（日）10:00～12:00 埋蔵文化財センター
内容 展示＋たこ壺の体験コーナーを考えます
※テントあり、でも電源なしにしようです。

一緒に取り組んでみたい方 大歓迎です！
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL072-483-6789 mailbu@city.sennan.jp

07 絵札の構図を考える

日時：1回目 平成27年4月21日（火）

2回目 平成27年4月28日（火）

＊いずれも10：00～12：00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

参加人数：1回目9名、2回目8名

■イメージにぴったりの絵の構図を考える

カルタの絵札の絵を「どんな絵にするのか」を考えるワークショップです。

作画担当は「写真をもとにして絵をおこす」ので、書いてほしい絵を写真で表現する必要があります。手順は①読み札のキーワード、説明文を読む、②うかんできの風景や絵柄を羅列、③それらを組み合わせ、④絵柄を決めるといったもの。1回目に考えてイメージに合わせた写真を、2回目までに用意する必要がある。1週間間隔をあけて2日間実施しました。「ヨコながの絵札があったら面白い」など話合いの中で出た意見も、併せて考えることにしました。



■ここまで話し合い

話し合いで決まった49個の「カルタにして伝えたい泉南の魅力」。肝心の絵札の絵、読み札の句が出来上がっていません。読み札の句は、市内の小学校で作ってもらえます。絵札の絵は、作画担当に描いてもらうのですが…構図を指定する必要があります。

■絵を描く側の意見

以前にご紹介しましたがもう一度、念のため。作画担当の職員と、絵をかいでもらうにあたっての注意点、スケッチャールなどを話し合いました。絵は、手描きの水彩画で、かわいらしいく親しみやすい感じの絵です。

描いてほしい絵の構図を写真で渡す

絵を描く方法は、写真をそのまま描いて、描くことに。ですので、アングルや大きさ、細部の細かいところも、思った通りの写真を用意する必要があります。

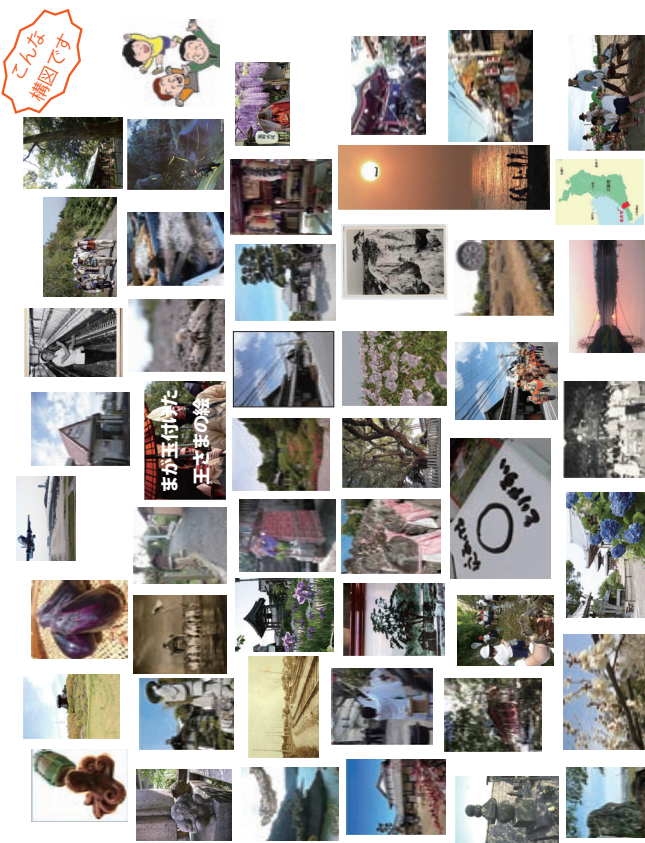
写真の大きさはながき程度のも

大きい写真のほうが、細かいところも表現できる

のでは？と思われるはず。でも、カルタにするときは、周辺が10センチ未満。縮小する必要がありますので、こまかく描いても、結局真っ黒になってしまいます。

絵の完結は9月が目標

すべての絵が出そろるのは、9月頃。できあがった絵から、埋蔵文化財センターに展示するほか、『広報せんなん』でも、小学生の句と併せて紹介する予定です。



こんな構図です

縦の絵も横の絵もある絵札

2回の話し合いで、48枚分の絵札のものになる写真のイメージを決定しました。

大切にしたいのは、元となる写真の構図。縦で統一すると、奥行きのあるヨコ方向の写真は台無しになるので「ヨコもある方がいい！」ということ。絵札は、縦も横もある絵を描いてもいいことにしました。

絵札の文字は控えめに

また、絵札の文字が入るところは、統一せずに、絵ができから、一番邪魔にならないところに入れることにしました。控えめに表記することになりました。いまのところは、文字は活字で、明朝体がいいのではないのか？といった意見が出ています。

電線や、ガードレールを、消す、消さない

写真に写りこむガードレールや電線などの扱いかも考えました。「消してしまおう（絵には入れないでおこう）」と考えたのは、たとえば「ハイキングコースいっぱい」の写真のガードレールや、「街道いっぱい」の電線など。ない方がいいのではとの意見からです。反対に、電線なども描いた方がいいのでは、となっ

たのが「熊野紀州街道」の電線など。今のまちなみをそのまま表現したいとの意図からです。

湯気や、色、強調するところ

稲河神社の湯神楽の写真には、お湯の湯気がおぼろげに映っているだけです。湯があることを強調した方がいので、絵を描くときには湯気を書き足すことにしました。

このような「欲張りな希望」を、各写真に書き込み、作画担当と連休明けに打合せする予定です。

箱の底に穴をあけよう！

見本のカルタを手にとっているうちに、ある方が提案してくれたアイデアです。カルタを箱から取り出すとき、箱ごとひっくり返すなどでもとりにくいたので、指を入れて「スマート」に出せるようにしたので、箱に入れて「スマート」という移建。ぜひとも取り入れたアイデアです。

一緒にカルタづくりをしてみたい方、大歓迎です
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL072-483-6789
メールアドレス：maibun@cityseman.jp

次回「カルタのデザイン」。箱や札のデザインを考えます
ワークショップを9月に2回、実施します（予定）。日程は『広報せんなん』等などでお知らせします！

08 カルタをデザインする

日時：平成 27 年 9 月 17 日 (木) 10:00～12:00
場所：泉南市理蔵文化財センター 参加人数：9 名

■用途を考えてからデザインする

これまでの作業で、カルタに必要なものは完成しています。市内の各小学校にお願いしていた読み札の句はできあがり、絵札の絵もほぼ完成。読み札の裏側に掲載するための説明書きも出そろっています。あとは、それらをカルタにするために、どんな感じで使うのかを考えるだけでもいいのですが…せっかくですので、ちょっと考えてみることにしました。

①カルタをだれに使うてもらいたいのか？②それならどんな工夫が必要か？③そのためにどんなデザインにすればいいか？

■だれに、どうやって遊んでほしい

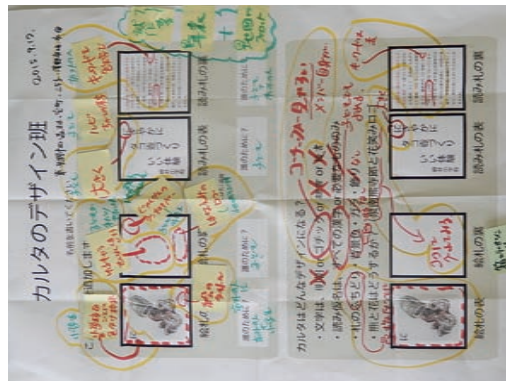
幼稚園児から高齢者まで、親子や兄弟、同世代や仲良く作るカルタなので、たくさんの人に未永く使ってほしいもの。なのでカルタとして使えるだけでなく、より多くの人に、カルタ以外の方法でも遊んでもらえる方法を考えてみることにしました。



幼稚園児から高齢者まで、親子や兄弟、同世代や仲良く作るカルタなので、たくさんの人に未永く使ってほしいもの。なのでカルタとして使えるだけでなく、より多くの人に、カルタ以外の方法でも遊んでもらえる方法を考えてみることにしました。



対象を設定して、それぞれが使う工夫を整理して考えてみたのですが…



仕上がりを見ても、イメージしにくいので、2パターン作って使ってみて判断することにした

■手に取ってもらうための工夫

「まあすてき！」と手に取ってもらえないうちに話にならないので…絵札の裏の空白部分に泉南市のゆるキャラ「泉南熊野郎」のイラストを入れることに。幼稚園児でも「これなら手に取ってくれるのでは？」とのアイデアです。

■わかりやすくするための工夫

幼稚園児から高齢者、市内の人も、市外の人でもわかるものにしてほしい！となったのでいいんです。内容を知ってもらうための工夫として以下のアイデアができました。

- ①すべての漢字に振仮名をつける。
- ②高齢者でも見やすいように字体はゴシック。
- ③年表と、地図を試作してみる。
- ④各札のキーワードを赤字にする。
- ⑤絵札にタイトルをすべてつける。

■ひとりでも多くに、使い続けてもらう工夫

カルタとしてしか使えないのであれば…長い目で



見ると、あまり使ってもらえないのかもしれない。事務局としては、今回作成するカルタは、より多くの

の人に使うてもらって工夫が必要だと考えています。というのも一番大切なのは、「カルタにして伝えたい泉南市の魅力」について知ってもらえること。

幼稚園児でも、高齢者でも、市民でも、市民以外でも、子ども同士でも親子でも、いろんな遊び方ができるようにしていれば、それだけ使ってもらえる(泉南市の魅力を知ってもらえる)ことにつながるからです。

そこで出たアイデアは4つ。①じゃんけん、②すごろく、③坊主めくりみたいなゲーム、④ひらがなさがし。

次にそのために必要なデザインの要素は何？と意見を出したのですが…うまくまとまりませんでした。ひとまず、2パターン作って次回に、実際に遊びながら、検討し決定することにした。

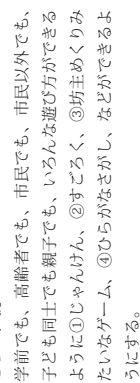
一緒にカルタづくりをしてみたい方、大歓迎です
問合せ・ご意見は、泉南市理蔵文化財センターまで TEL.072-483-6789
メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp

【次回の告知】日時：10/1(木)10時～12時 場所：理蔵文化財センター
内容：試作品で遊んでみる(思った通りの仕上がりか？最終チェックです)

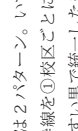
つぎに、誰にでもわかりやすくする工夫として、①すべての漢字に振り仮名をつける、②高齢者でも見やすいように字体はゴシック、③年表と地図をつくる、④各札のキーワードを赤字にする、⑤絵札に

さらに、就

以上盛りだくさんの条件を、試作品で遊びながら確認し、すべてかなえるカルタのデザイン確定がこの日のゴールです。



この日、見本として作ったのは2パターン。いづれも明朝体の文字で、線粒の枠線を①校区ごとに10色塗分けられているもの、②うすい黒で統一したものです。①は、色の違いから「坊主めくり」みたいな



ンゲージゲームができるのではないかと？と
 のアフィニティがでたのではないかと。ま
 は絵粒の裏側に黒い紙を貼って、うすい
 かんマークや花菱のロゴを配置。
 カルカミカミ以外の遊びや思わず手に
 取りたくなるようにする。

前回の話しでは、文字は
みやすいゴシ〇ックによ
うと決まったのですが、事
務局のわがままでゴチック
にしてもいました。柔ら
かさがほしかったからで
す。



■姫：坊主：殿＝5：10：33
坊主めくりのようなゲーム「花笑



【次回のお知らせ】
 日時：10/15(木)10時～12時半 場所：埋蔵文化財センター
 内容：文章内容の最終確認です。
 宿題：文章校正・読み札裏の文章中心ワードの選択
 注意：終了時間は12時半を予定しています。空腹対策をえ忘れます

10 どうする？ カルタ大会

■最終校正を実施

10/15 (木) 10時～12時半

場所：埋蔵文化財センター 参加人数：7名

前回の課題だった、文章校正。各自チェックし10/15に持ち寄りました。当日は事務担当が不在（団体見学の対応）だったので、ワークシヨップメンバーで進行し話し合ってもうこうにしました。結果42個もの間違いや、確認した方がよい内容などを発見。細かなところまで意見交換ができたように、基本すべての漢字にふりがながなつづけるが、「年月日」だけは例外にするなどの意見もありました。

■カルタ大会の内容を考える

10/20(木)・10/29(木) いずれも10時～12時
場所：埋蔵文化財センター
参加人数：7名(10/22)、6名+中学生3名(10/29)
来月1月の発行にあわせて開催する「カルタ大会」を企画するための話し合いです。誰に、どんな遊びを
楽しんでもよいか? そもそもなぜカルタ大会をやるのか? を意識しての話し合いです。当初の予定では、3
回の話し合いと考えていましたが、皆さんの「カルタの話し合いのめり」を話し合いの結果、2回の話し合いで企
てまえました。詳しくは以下をご覧ください。

誰でも楽しめるカルタ大会！

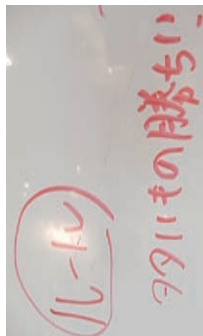
事務局が、2日間の開催日（1/9と1/23）を提示したうえで話し合いを始めました。うち、一日はカルタ大会、もう一日はカルタ以外のあそびでのカルタ大会をできたらと考え、そのシンリオに沿って進めようとした事務局なのですが…皆さんかの意見は「誰でも一緒に楽しめるようにしよう！」との意見。誰でも楽しめる大会によることで、より多くの人にしっかりと楽しみながら泉南市の「はえとこ」を気づくきっかけ作りをしようというものです。

泉南中学校の2年生と考えました！

このカルタで可能な遊びは3種類。カルタのほかに、「せんくまジャンケン」、「花笑み・せんなんめくり」です。ルールと遊び方は、職業体験に来ていた京南中学校2年生3人と、実際に遊んでみながら考えてみました。

かなり楽しめるカルタ

カルタは、5人程度で遊ぶのがちょうどいいようです。句の頭文字と、絵札のカナが一緒なので、あっという間に勝負がつきます。1ゲームに10分程度という間に勝つでしょうが、本番では、まず「回練習」としてから、親技を行うことに。いきなり本番だと、「あ、まんま楽しくない」といった中学生の意見からです。読み札の句を讀み上げるのは、ワークシヨップメン



5、6人で遊べる「せんくまジャンケン」

「せんくまジャンケン」は、絵札の裏に描かれたジャンケンマークをつかったあそび。ゲーム、チョキ、パーの絵がそれぞれ描かれた札と、3つとも描かれたもの（オールマイティ）の4種類をつかいます。

まず出た意見は「ジャンケンのマークが見えにくい」との意見。事務局の判断で、薄いグレーにしていたのですが、変更となりました。大きさと位置、色を中学生3名に決めてもらったところ、「オレンジがいい」とのこと。これで見えやすくなるはずですよ。

「せんくまジャンケン」は手札をじゃんけんで取り合
うゲームで、最後に手札が一番多い人が勝ちです。

可度かやってみました。①まず総札をじゃんけんマ
ークを裏にした状態で配る（余った札は山札とする）、
②プレイヤーは配られた総札を置わずにそのまま、
③ジャンケンの合言葉は「せん
上から出して、じゃんけんぽい（ク）」と勝った
プレイヤーは「じゃんけんぽい（ク）」と勝った

上から出していい。③ジャンケンの合言葉は「せん」でいい。④勝った人は、じゃんけんばい(?)、⑤独り勝ち以外にひとりがそろってだされた札を総取り、⑥札がなくばゲーム終了、⑦手元にもっている札が一番多い人が勝ち、⑧手元の札が同数の場合は、「せんくまジャンケン」で勝負をつける。5、6人でも楽しく遊べます。

一緒にみたい方、大歓迎です

問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで
TEL:072-483-6789

【かるた大会の予定】 平成28年1月9日(土)

13:30～14:30で予定しています。内容は、カルタ+「花笑み・せんなんめくり」+「せんくまジャンケン」の三種競技。詳細は広報せんなん1月号で告知予定です。



「せんくまジャンケン」のマーク。

わかりにくい!との意見から、オレンジ色に変更です。

5、6人で遊べる「せんくまジャンケン」

「せんくまジャンケン」は、絵札の裏に描かれたジャンケンマークをつかったあそび。ゲーム、チョキ、パーの絵がそれぞれ描かれた札と、3つとも描かれたもの（オールマイティ）の4種類をつかいます。

まず出た意見は「ジャンケンのマークが見えにくい」との意見。事務局の判断で、薄いグレーにしていたのですが、変更となりました。大きさと位置、色を中学生3名に決めてもらったところ、「オレンジがいい」とのこと。これで見えやすくなるはずですよ。

「せんくまジャンケン」は手札をじゃんけんで取り合
うゲームで、最後に手札が一番多い人が勝ちです。

可度かやってみました。①まず総札をじゃんけんマ
ークを裏にした状態で配る（余った札は山札とする）、
②プレイヤーは配られた総札を置わずにそのまま、
③ジャンケンの合言葉は「せん
上から出して、じゃんけんぽい（ク）」と勝った
プレイヤーは「じゃんけんぽい（ク）」と勝った

上から出していく、③ジャンケンの合言葉は「せんぱい」で、④勝った人はじゃんけんばい(?)、⑤強り勝ち以外にひとがその場にだされた札を総取り、⑥札になくなくなればゲーム終了(外札が総取りできる)、⑦札になくなくなる人が勝ち、⑧手元にもっている札が一番多い人が勝ち、⑨手元の札が同数の場合は、「せんくまジャンケン」で勝負をつける。5、6人でも楽しく遊べます。



「花笑み・せんなんめぐり」のロゴ。それぞれの枚数を工夫して分配したので、大逆転のありのゲームです。

「花笑み・せんなんめくり」

会を上にした絵札を、ひとつの山札にまとも、裏側
こある「花笑み・せんなん」のロゴの色2種と、ロ
ゴガシの違いで「ぼうずめくり」の要領で遊びます。
ひめ」は「七色の花笑みロゴ」、「との」は「水ナス

色の花をアミロ、「ぽっず」は「口がなし」の絵柄です。
①絵巻の上にした絵札をひとまとめにする、②順番に
口敷ずつ取る。③とった札が「との（水なす色の口
敷）うずうず（ゴナジシ）」の場合は、持っている札をぜんぶ
捨てる。④とった札が「ひめ（七色の口口）」の場合
は、場に捨てられている札をぜんぶ自分のものにもっ
きる。⑤山札がなくればゲーム終了で、手元にもつ
ている札が一番多い人が勝ち。⑦手元の札が同数の
場合は「ぜんくまジャンケン」で勝負をつける。

多いもの勝ち!の3種競技の大会にする

ここまで考えたところで、大会は1/9のみとすることにしました。すべての遊びを楽しむ大会にすれば、誰でも楽しめるからです。当日は、まずカルタ、次に「花笑み・せんまんめぐり」、最後に「けんくま・ジャンケン」と各1回戦つて実施。最後に「ごほうび（順位に応じて渡す景品）」が多数の人から順位をつけることにしました。競技時間は練習も含めて各10分程度とおそろし1時間のイベントです。

【これから、出前でカルタ大会をサポート】

カルタができてからが本番、カルタ完成後も活動を売っていきたい！」とのウレシイ意見がありました。活動の形としては、まずは出前でカルタ大会をサポートする組織作りをめざします。

キルタは市内の保育所、幼稚園、小中学校のほか、活用が見込まれる施設や団体に配布。個人的に必要な方は、販売などの方法を考えています。

当初販売時のもの（上・2016.1 から発売）と再印刷時のもの（下・2016.9 から発売）

カルタ販売用のチラシ

みんなだいじっばいー 「やんくまやんこ」や「花菜み・せんなんめくろ」にだんしゅをさくへん

発売中！ ええとこいっばい！ せんなんかるた

発売後 12 日間で売り切れた泉南市の「ええとこ 48」を紹介する『ええとこいっばい！せんなんかるた』を市民・NPO、泉南市 ABC 委員会、商工会、青年会連が発行委員会を立ち上げたの印刷しました！

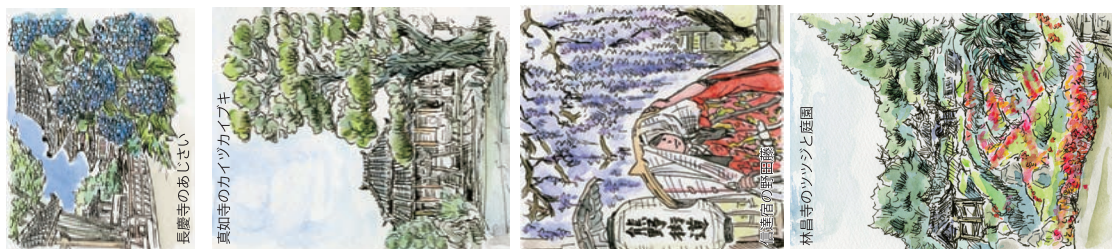


hana-emi
はなえみ

このカルタは、市民の皆さまの寄付により印刷しました。ご協力頂いた方々のお名前を裏面に記載し、御礼申し上げます。

850円

【発行】せんなんかるた普及発行委員会 【問い合わせ】泉南市観光協会観光案内所 TEL 07249338948



住民・学校・教育委員会が一緒になって作りました

せんなんかるた

ええとこいっばい！

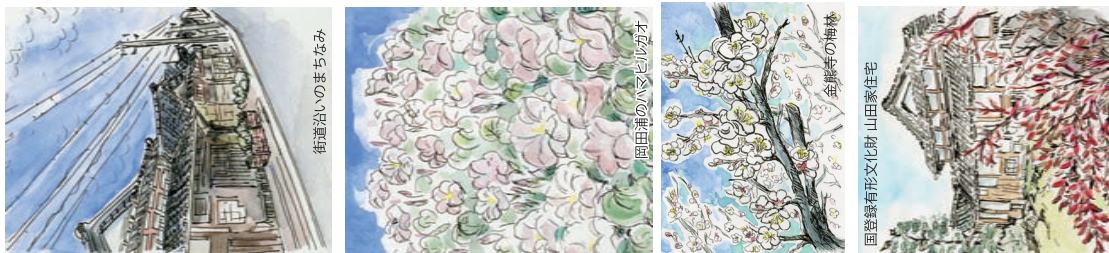
泉南市の48の「ええとこ」をカルタにしてご紹介

「やんくまやんこ」や
「花菜み・せんなんめくろ」で遊べる



hana-emi
はなえみ

【読み札の句づくり】新家小学校・東小学校・信達小学校・西信達小学校・椿井小学校・榎井小学校・一丘小学校・砂川小学校・新家東小学校・鳴滝小学校の児童の皆さん、【絵札の作画】水庭麗美、【カルタづくり全般にかかる協力】郷土カルタづくりワークショップメンバーの皆さん、泉南市小学校教育研究会、諸部会の皆さん、【企画】産業観光課、文化振興課、生涯学習課、文化振興課、生涯学習課、【編集】泉南市埋蔵文化財センター、【発行】泉南市教育委員会
*このカルタは「ふるさと泉南市なす基金（ふるさと応援寄付金）」を活用して作成しました。



発売中！

11. 附編

泉南市埋蔵文化財センター条例

平成9年4月4日
条例第10号

(設置)

第1条発掘調査等で得られた考古学的資料(以下「資料」という。)の保存及び活用を図り、歴史に対する理解を深め、市民文化の向上に資するため泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
泉南市埋蔵文化財センター	泉南市信達大苗代 374-4

(業務)

第3条センターは、次の業務を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 埋蔵文化財の調査研究及び活用に関すること。
- (3) 資料を展示し、公開すること。
- (4) 資料に関する講演会、講習会及び研究会等に関すること。
- (5) その他泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が設置目的を達成するために必要と認める業務

(入館の制限)

第4条委員会は、入館者が次の各号のいずれかに該当するときは、入館を断り、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設又は設備等を毀損し、又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 資料等を汚損し、若しくは損傷し、又は亡失させるおそれがあるとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(損害の賠償)

第5条何人もセンターの施設若しくは設備を毀損し、又は備品若しくは資料等を亡失し、若しくは損傷したときは、これを修理し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めたときは、この限りでない。

(職員)

第6条センターに必要な職員を置く。

(委任)

第7条この条例に定めるもののほか、センターの管理運営に関し必要な事項は、委員会規則で定める。

附則

この条例は、平成9年4月27日から施行する。

泉南市埋蔵文化財センター条例施行規則

平成9年4月4日
教育委員会規則第1号

(趣旨)

第1条この規則は、泉南市埋蔵文化財センター条例(平成9年泉南市条例第10号。以下「条例」という。)第7条の規定に基づき、泉南市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間及び休館日)

第2条センターの開館時間は、午前9時30分から午後4時30分までとする。

2センターの休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
 - (2) 毎週土曜日及び日曜日
 - (3) 12月28日から翌年1月5日までの日
- 3 前2号の規定にかかわらず、泉南市教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認めるときは、開館時間及び休館日を変更し、又は臨時に休館することがある。

(資料の貸出し)

第3条条例第1条に規定する資料(以下「資料」という。)は、教育的目的又は学術研究に使用する場合に限り、館外に貸出しをすることがある。

2 資料の貸出しを受けようとする者は、資料貸出申請書(様式第1号)を委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

3 委員会は、前項の規定により許可したときは、資料貸出許可書(様式第2号)を交付する。

(行為の禁止)

第4条センターでは、次の行為をしてはならない。

- (1) 所定の場所以外で喫煙し、又は火気を使用する行為
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為
- (3) 所定の場所以外に無断で立ち入る行為
- (4) その他管理上支障をきたす行為

(委任)

第5条この規則に定めるもののほか、必要な事項は、委員会が別に定める。

附則

この規則は、平成9年4月27日から施行する。

附則(平成17年3月2日教委規則第1号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例

平成7年6月27日
条例第11号

(設置)

第1条史跡海会寺跡を保存するとともに市民にこれと親しむ場を提供し、もって市民の文化的向上に資するため、史跡海会寺跡広場(以下「海会寺跡」という。)を泉南市信達大苗代に設置する。

(施設)

第2条海会寺跡に次に掲げる施設を置く。

- (1) 塔、講堂、回廊、基壇等の復元された歴史的建造物
- (2) 積層面遺構露出保護展示施設
- (3) 広場

(管理)

第3条海会寺跡は、泉南市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(入場の制限)

第4条教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合は、海会寺跡への入場を制限することができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設を損傷し又は汚損するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に定めるもののほか、管理上支障があるとき。

(委任)

第5条この条例に定めるもののほか、海会寺跡の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

史跡海会寺跡広場条例施行規則

平成 7 年 6 月 27 日
教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条この規則は、史跡海会寺跡広場条例 (平成 7 年泉南市条例第 11 号。以下「条例」という。) 第 5 条の規定に基づき、史跡海会寺跡広場 (以下「海会寺跡」という。) の管理運営について必要な事項を定めるものとする。

(入場者の遵守事項)

第 2 条海会寺跡の入場者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 樹木を伐採し、又は植物を採取してはならない。
- (2) 土地の形質を変更してはならない。
- (3) 鳥獣類を捕獲し、又は殺傷してはならない。
- (4) 車両を乗り入れてはならない。
- (5) 立入禁止区域に立ち入ってはならない。
- (6) はり紙、はり札又は広告を表示してはならない。

(7) 他人の迷惑となる行為をしてはならない。

(損害賠償)

第 3 条海会寺跡の利用者が施設又は設備を損壊し、汚損し、又は滅失したときは、これを修理し、若しくは原状回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、利用者の責めに帰することができないときは、この限りではない。

(積層面遺構露出保護展示施設)

第 4 条条例第 2 条第 2 号に掲げる積層面遺構露出保護展示施設 (以下「展示施設」という。) の利用時間は、午前 10 時から午後 4 時までとする。ただし、泉南市教育委員会 (以下「教育委員会」という。) が必要と認めるときはこれによらないことができる。

2 展示施設の閉休日は次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときはこれによらないことができる。

(1) 12 月 28 日から翌年 1 月 5 日までの期間

(委任)

第 5 条この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。附則

この規則は、公布の日から施行する。

資料貸出申請書

年 月 日

泉南市教育委員会殿

申請者 住所 (所在地)
氏名 (名称)
代表者名 (印)
Tel

下記のとおり、埋蔵文化財センターが管理する資料の貸出を受けたいので申請します

利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
取扱責任者				

資料貸出許可書

泉南教委生発第号

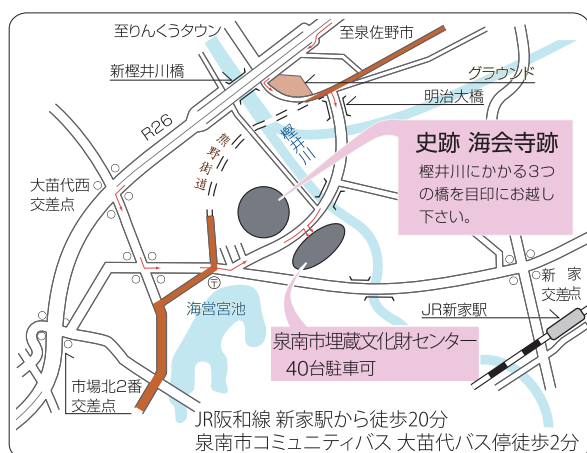
年 月 日

殿

泉南市教育委員会

年 月 日付けで申請のありましたセンター資料の貸し出しについては、次のとおり許可します。

利用目的				
貸出期間	年 月 日 から 年 月 日まで			
利用場所				
利用方法				
貸出資料	分類番号	品名	数量	備考
輸送方法				
許可条件				



利用案内

所在地：大阪府泉南市信達大苗代 374-4 史跡海会寺跡広場前

電話：072-483-6789

FAX：072-483-7089

メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp

ホームページ：http://www.city.sennan.lg.jp/kanko/bunka/maizou/center/

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：土・日曜日・祝日（第2・4土曜日は開館）・年末年始

入館料：無料

泉南市埋蔵文化財センター 年報 平成27年度 2017年1月 編集・発行 泉南市教育委員会